

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3) 農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名: 北海道)(地区名: 川上大栄第2)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農家経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の () には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3) 農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名: 北海道)(地区名: 川上大栄第2)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ —	B
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	369	B
			スマート農業技術等の導入	—	A	A
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率 ②高収益作物の作付面積の増加率	% %	21.2 0.5	A
			高収益作物の作付率	—	—	—
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	100.0	A
			農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	100.0 0.4
		農業生産基盤の保全管理		緊急性を踏まえた更新等整備	—	—
			施設の健全度を踏まえた更新等整備	—	—	—
	施設の重要度を踏まえた更新等整備		—	—	—	
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	627	B
			農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い	—	○ ○
		再生可能エネルギーの導入		小水力発電等の再生可能エネルギーの導入	—	B
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組 生態系・景観への配慮	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A	
		①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a —	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	—	—
	関係計画との連携		①都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ⑤地域における開発計画と本事業との整合性 ⑥関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	緊急性		国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い	—	—	—
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	71.4	B

川上大栄第2地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	1,870,667
当該事業による費用	②	1,448,598
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	422,069
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	49年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	3,320,787
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.77

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	区画整理	-	1,448,598	-	309,436	86,938	1,671,096
	計	-	1,448,598	-	309,436	86,938	1,671,096
そ の 他	道営造成施設	88,807	-	-	134,191	23,427	199,571
	計	88,807	-	-	134,191	23,427	199,571
合 計		88,807	1,448,598	-	443,627	110,365	1,870,667

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		123,550	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		43,806	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		29,726	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		197,082	

(4) 総便益額算出表－1

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	作物生産効果						備考	
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果				計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①		
1	R8	1.0400	1	-	123,550	0.0	0	0	0		
2	R9	1.0816	2	-	123,550	0.0	0	0	0		
3	R10	1.1249	3	-	123,550	11.9	14,702	14,702	13,070		
4	R11	1.1699	4	-	123,550	24.9	30,764	30,764	26,296		
5	R12	1.2167	5	-	123,550	37.9	46,825	46,825	38,485		
6	R13	1.2653	6	-	123,550	55.0	67,953	67,953	53,705		
7	R14	1.3159	7	-	123,550	74.1	91,551	91,551	69,573		
8	R15	1.3686	8	-	123,550	86.0	106,253	106,253	77,636		
9	R16	1.4233	9	-	123,550	97.9	120,955	120,955	84,982		
10	R17	1.4802	10	-	123,550	100.0	123,550	123,550	83,468		
11	R18	1.5395	11	-	123,550	100.0	123,550	123,550	80,253		
12	R19	1.6010	12	-	123,550	100.0	123,550	123,550	77,171		
13	R20	1.6651	13	-	123,550	100.0	123,550	123,550	74,200		
14	R21	1.7317	14	-	123,550	100.0	123,550	123,550	71,346		
15	R22	1.8009	15	-	123,550	100.0	123,550	123,550	68,605		
16	R23	1.8730	16	-	123,550	100.0	123,550	123,550	65,964		
17	R24	1.9479	17	-	123,550	100.0	123,550	123,550	63,427		
18	R25	2.0258	18	-	123,550	100.0	123,550	123,550	60,988		
19	R26	2.1068	19	-	123,550	100.0	123,550	123,550	58,643		
20	R27	2.1911	20	-	123,550	100.0	123,550	123,550	56,387		
21	R28	2.2788	21	-	123,550	100.0	123,550	123,550	54,217		
22	R29	2.3699	22	-	123,550	100.0	123,550	123,550	52,133		
23	R30	2.4647	23	-	123,550	100.0	123,550	123,550	50,128		
24	R31	2.5633	24	-	123,550	100.0	123,550	123,550	48,200		
25	R32	2.6658	25	-	123,550	100.0	123,550	123,550	46,346		
26	R33	2.7725	26	-	123,550	100.0	123,550	123,550	44,563		
27	R34	2.8834	27	-	123,550	100.0	123,550	123,550	42,849		
28	R35	2.9987	28	-	123,550	100.0	123,550	123,550	41,201		
29	R36	3.1187	29	-	123,550	100.0	123,550	123,550	39,616		
30	R37	3.2434	30	-	123,550	100.0	123,550	123,550	38,093		
31	R38	3.3731	31	-	123,550	100.0	123,550	123,550	36,628		
32	R39	3.5081	32	-	123,550	100.0	123,550	123,550	35,218		
33	R40	3.6484	33	-	123,550	100.0	123,550	123,550	33,864		
34	R41	3.7943	34	-	123,550	100.0	123,550	123,550	32,562		
35	R42	3.9461	35	-	123,550	100.0	123,550	123,550	31,309		
36	R43	4.1039	36	-	123,550	100.0	123,550	123,550	30,106		
37	R44	4.2681	37	-	123,550	100.0	123,550	123,550	28,947		
38	R45	4.4388	38	-	123,550	100.0	123,550	123,550	27,834		
39	R46	4.6164	39	-	123,550	100.0	123,550	123,550	26,763		
40	R47	4.8010	40	-	123,550	100.0	123,550	123,550	25,734		
41	R48	4.9931	41	-	123,550	100.0	123,550	123,550	24,744		
42	R49	5.1928	42	-	123,550	100.0	123,550	123,550	23,793		
43	R50	5.4005	43	-	123,550	100.0	123,550	123,550	22,878		
44	R51	5.6165	44	-	123,550	100.0	123,550	123,550	21,998		
45	R52	5.8412	45	-	123,550	100.0	123,550	123,550	21,151		
46	R53	6.0748	46	-	123,550	100.0	123,550	123,550	20,338		
47	R54	6.3178	47	-	123,550	100.0	123,550	123,550	19,556		
48	R55	6.5705	48	-	123,550	100.0	123,550	123,550	18,804		
49	R56	6.8333	49	-	123,550	100.0	123,550	123,550	18,081		
合計 (総便益額)									2,081,853		

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	43,806	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	43,806	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	43,806	11.9	5,213	5,213	4,634	
4	R11	1.1699	4	-	43,806	24.9	10,908	10,908	9,324	
5	R12	1.2167	5	-	43,806	37.8	16,559	16,559	13,610	
6	R13	1.2653	6	-	43,806	54.9	24,049	24,049	19,007	
7	R14	1.3159	7	-	43,806	74.1	32,460	32,460	24,668	
8	R15	1.3686	8	-	43,806	85.9	37,629	37,629	27,495	
9	R16	1.4233	9	-	43,806	97.9	42,886	42,886	30,131	
10	R17	1.4802	10	-	43,806	100.0	43,806	43,806	29,595	
11	R18	1.5395	11	-	43,806	100.0	43,806	43,806	28,455	
12	R19	1.6010	12	-	43,806	100.0	43,806	43,806	27,362	
13	R20	1.6651	13	-	43,806	100.0	43,806	43,806	26,308	
14	R21	1.7317	14	-	43,806	100.0	43,806	43,806	25,297	
15	R22	1.8009	15	-	43,806	100.0	43,806	43,806	24,325	
16	R23	1.8730	16	-	43,806	100.0	43,806	43,806	23,388	
17	R24	1.9479	17	-	43,806	100.0	43,806	43,806	22,489	
18	R25	2.0258	18	-	43,806	100.0	43,806	43,806	21,624	
19	R26	2.1068	19	-	43,806	100.0	43,806	43,806	20,793	
20	R27	2.1911	20	-	43,806	100.0	43,806	43,806	19,993	
21	R28	2.2788	21	-	43,806	100.0	43,806	43,806	19,223	
22	R29	2.3699	22	-	43,806	100.0	43,806	43,806	18,484	
23	R30	2.4647	23	-	43,806	100.0	43,806	43,806	17,773	
24	R31	2.5633	24	-	43,806	100.0	43,806	43,806	17,090	
25	R32	2.6658	25	-	43,806	100.0	43,806	43,806	16,433	
26	R33	2.7725	26	-	43,806	100.0	43,806	43,806	15,800	
27	R34	2.8834	27	-	43,806	100.0	43,806	43,806	15,192	
28	R35	2.9987	28	-	43,806	100.0	43,806	43,806	14,608	
29	R36	3.1187	29	-	43,806	100.0	43,806	43,806	14,046	
30	R37	3.2434	30	-	43,806	100.0	43,806	43,806	13,506	
31	R38	3.3731	31	-	43,806	100.0	43,806	43,806	12,987	
32	R39	3.5081	32	-	43,806	100.0	43,806	43,806	12,487	
33	R40	3.6484	33	-	43,806	100.0	43,806	43,806	12,007	
34	R41	3.7943	34	-	43,806	100.0	43,806	43,806	11,545	
35	R42	3.9461	35	-	43,806	100.0	43,806	43,806	11,101	
36	R43	4.1039	36	-	43,806	100.0	43,806	43,806	10,674	
37	R44	4.2681	37	-	43,806	100.0	43,806	43,806	10,264	
38	R45	4.4388	38	-	43,806	100.0	43,806	43,806	9,869	
39	R46	4.6164	39	-	43,806	100.0	43,806	43,806	9,489	
40	R47	4.8010	40	-	43,806	100.0	43,806	43,806	9,124	
41	R48	4.9931	41	-	43,806	100.0	43,806	43,806	8,773	
42	R49	5.1928	42	-	43,806	100.0	43,806	43,806	8,436	
43	R50	5.4005	43	-	43,806	100.0	43,806	43,806	8,111	
44	R51	5.6165	44	-	43,806	100.0	43,806	43,806	7,800	
45	R52	5.8412	45	-	43,806	100.0	43,806	43,806	7,499	
46	R53	6.0748	46	-	43,806	100.0	43,806	43,806	7,211	
47	R54	6.3178	47	-	43,806	100.0	43,806	43,806	6,934	
48	R55	6.5705	48	-	43,806	100.0	43,806	43,806	6,667	
49	R56	6.8333	49	-	43,806	100.0	43,806	43,806	6,411	
合計 (総便益額)									738,042	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果		計		同 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		
1	R8	1.0400	1	-	29,726	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	29,726	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	29,726	11.9	3,537	3,537	3,144	
4	R11	1.1699	4	-	29,726	24.9	7,402	7,402	6,327	
5	R12	1.2167	5	-	29,726	37.9	11,266	11,266	9,259	
6	R13	1.2653	6	-	29,726	55.0	16,349	16,349	12,921	
7	R14	1.3159	7	-	29,726	74.1	22,027	22,027	16,739	
8	R15	1.3686	8	-	29,726	86.0	25,564	25,564	18,679	
9	R16	1.4233	9	-	29,726	97.9	29,102	29,102	20,447	
10	R17	1.4802	10	-	29,726	100.0	29,726	29,726	20,082	
11	R18	1.5395	11	-	29,726	100.0	29,726	29,726	19,309	
12	R19	1.6010	12	-	29,726	100.0	29,726	29,726	18,567	
13	R20	1.6651	13	-	29,726	100.0	29,726	29,726	17,852	
14	R21	1.7317	14	-	29,726	100.0	29,726	29,726	17,166	
15	R22	1.8009	15	-	29,726	100.0	29,726	29,726	16,506	
16	R23	1.8730	16	-	29,726	100.0	29,726	29,726	15,871	
17	R24	1.9479	17	-	29,726	100.0	29,726	29,726	15,261	
18	R25	2.0258	18	-	29,726	100.0	29,726	29,726	14,674	
19	R26	2.1068	19	-	29,726	100.0	29,726	29,726	14,110	
20	R27	2.1911	20	-	29,726	100.0	29,726	29,726	13,567	
21	R28	2.2788	21	-	29,726	100.0	29,726	29,726	13,045	
22	R29	2.3699	22	-	29,726	100.0	29,726	29,726	12,543	
23	R30	2.4647	23	-	29,726	100.0	29,726	29,726	12,061	
24	R31	2.5633	24	-	29,726	100.0	29,726	29,726	11,597	
25	R32	2.6658	25	-	29,726	100.0	29,726	29,726	11,151	
26	R33	2.7725	26	-	29,726	100.0	29,726	29,726	10,722	
27	R34	2.8834	27	-	29,726	100.0	29,726	29,726	10,309	
28	R35	2.9987	28	-	29,726	100.0	29,726	29,726	9,913	
29	R36	3.1187	29	-	29,726	100.0	29,726	29,726	9,532	
30	R37	3.2434	30	-	29,726	100.0	29,726	29,726	9,165	
31	R38	3.3731	31	-	29,726	100.0	29,726	29,726	8,813	
32	R39	3.5081	32	-	29,726	100.0	29,726	29,726	8,474	
33	R40	3.6484	33	-	29,726	100.0	29,726	29,726	8,148	
34	R41	3.7943	34	-	29,726	100.0	29,726	29,726	7,834	
35	R42	3.9461	35	-	29,726	100.0	29,726	29,726	7,533	
36	R43	4.1039	36	-	29,726	100.0	29,726	29,726	7,243	
37	R44	4.2681	37	-	29,726	100.0	29,726	29,726	6,965	
38	R45	4.4388	38	-	29,726	100.0	29,726	29,726	6,697	
39	R46	4.6164	39	-	29,726	100.0	29,726	29,726	6,439	
40	R47	4.8010	40	-	29,726	100.0	29,726	29,726	6,192	
41	R48	4.9931	41	-	29,726	100.0	29,726	29,726	5,953	
42	R49	5.1928	42	-	29,726	100.0	29,726	29,726	5,724	
43	R50	5.4005	43	-	29,726	100.0	29,726	29,726	5,504	
44	R51	5.6165	44	-	29,726	100.0	29,726	29,726	5,293	
45	R52	5.8412	45	-	29,726	100.0	29,726	29,726	5,089	
46	R53	6.0748	46	-	29,726	100.0	29,726	29,726	4,893	
47	R54	6.3178	47	-	29,726	100.0	29,726	29,726	4,705	
48	R55	6.5705	48	-	29,726	100.0	29,726	29,726	4,524	
49	R56	6.8333	49	-	29,726	100.0	29,726	29,726	4,350	
合計(総便益額)									500,892	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、てんさい、たまねぎ、ばれいしょ（原料）、にんじん

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額^{※1}＋作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）
×単価×単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）
×単収×単価×作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
小麦	新設	ha 136.9	ha 137.4	ha 78.4	単収増 (乾畑化Ⅰ)	kg/10a 613	kg/10a 797	kg/10a 184	t 144.3	千円/t -	千円 -	% -	千円 -
				7.3	単収増 (土層改良Ⅰ)	613	674	61	4.5	-	-	-	-
				26.3	単収増 (乾畑化Ⅱ)	613	705	92	24.2	-	-	-	-
					小計	-	-	-	173.0	59	10,207	87	8,880
				0.5	作付増	-	-	739	3.7	-	-	-	-
					小計	-	-	-	3.7	59	218	-	-
大豆	新設	21.2	21.3	12.2	単収増 (乾畑化Ⅰ)	295	384	89	10.9	-	-	-	-
				1.1	単収増 (土層改良Ⅰ)	295	325	30	0.3	-	-	-	-
				4.1	単収増 (乾畑化Ⅱ)	295	339	44	1.8	-	-	-	-
					小計	-	-	-	13.0	133	1,729	88	1,522
				0.1	作付増	-	-	356	0.4	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.4	133	53	-	-
てんさい	新設	113.0	113.4	64.7	単収増 (乾畑化Ⅰ)	7,082	9,207	2,125	1,374.9	-	-	-	-
				6.1	単収増 (土層改良Ⅰ)	7,082	7,790	708	43.2	-	-	-	-
				21.7	単収増 (乾畑化Ⅱ)	7,082	8,144	1,062	230.5	-	-	-	-
					小計	-	-	-	1,648.6	13	21,432	86	18,432
				0.4	作付増	-	-	8,543	34.2	-	-	-	-
					小計	-	-	-	34.2	13	445	-	-
たまねぎ	新設	10.8	10.9	6.3	単収増 (乾畑化Ⅰ)	6,114	7,948	1,834	115.5	-	-	-	-
				0.6	単収増 (土層改良Ⅰ)	6,114	6,725	611	3.7	-	-	-	-
				2.1	単収増 (乾畑化Ⅱ)	6,114	7,031	917	19.3	-	-	-	-
					小計	-	-	-	138.5	72	9,972	91	9,075
				0.1	作付増	-	-	7,373	7.4	-	-	-	-
					小計	-	-	-	7.4	72	533	16	85
					たまねぎ 計	-	-	-	-	10,505	-	9,160	

ばれいしよ (原料)	新設	94.4	94.8	54.1	単収増 (乾畑化Ⅰ)	4,148	5,392	1,244	673.0	-	-	-	-
				5.1	単収増 (十層改良Ⅰ)	4,148	4,563	415	21.2	-	-	-	-
				18.1	単収増 (乾畑化Ⅱ)	4,148	4,770	622	112.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	806.8	17	13,716	87	11,933
				0.4	作付増	-	-	5,003	20.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	20.0	17	340	-	-
					ばれいしよ(原料) 計	-	-	-	-	-	14,056	-	11,933
にんじん	新設	75.5	75.8	43.2	単収増 (乾畑化Ⅰ)	3,749	4,874	1,125	486.0	-	-	-	-
				4.0	単収増 (十層改良Ⅰ)	3,749	4,124	375	15.0	-	-	-	-
				14.5	単収増 (乾畑化Ⅱ)	3,749	4,311	562	81.5	-	-	-	-
					小計	-	-	-	582.5	140	81,550	90	73,395
				0.3	作付増	-	-	4,522	13.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	13.6	140	1,904	12	228
					にんじん 計	-	-	-	-	-	83,454	-	73,623
普通畑 計	新設 更新	451.8	453.6								142,099		123,550
	新設										142,099		123,550
	更新												
	合計										142,099		123,550

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり
「現況作付面積」・斜里町の作付実績に基づき決定した。
「計画作付面積」・新設整備では、北海道、斜里町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
- ・単 収 :増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
「事業ありせば単収」・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 :JA聞き取り等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 :「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、てんさい、たまねぎ、ばれいしょ（原料）、にんじん

○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当り営農経費 - 事業ありせば単位面積当り営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
小麦（区画整理）	617,400	523,856	-	-	93,544	137.4	12,853
大豆（区画整理）	624,289	544,383	-	-	79,906	21.3	1,702
てんさい（区画整理）	1,021,261	916,693	-	-	104,568	113.4	11,858
たまねぎ（区画整理）	5,094,164	4,548,292	-	-	545,872	10.9	5,950
ばれいしょ（原料） （区画整理）	854,292	774,250	-	-	80,042	94.8	7,588
にんじん（区画整理）	3,344,875	3,294,017	-	-	50,858	75.8	3,855
新 設							43,806
更 新							-
合 計							43,806

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、北海道の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、北海道の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。

(3) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、てんさい、たまねぎ、ばれいしょ（原料）、にんじん

○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額（原単位）
 + 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産額 当たり効果額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	142,099	2,299,322	49	9.9	29,726
更新整備	-	-	49	9.9	-
合計	142,099	2,299,322			29,726

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）〔改訂版〕「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農村計画課調べ

【便益】

- ・ 農林水産省北海道農政事務所（令和元年～令和6年）「北海道農林水産統計年報」
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、北海道農村計画課調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3) 農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名： 北海道)(地区名： 訓子府西部)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農家経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3) 農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名: 北海道)(地区名: 訓子府西部)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ —	B
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,104	A
			スマート農業技術等の導入	—	A	A
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	26.9	A
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	0.0	
			高収益作物の作付率	—	—	—
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	100.0	A
			農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	100.0
		②作付率の増加ポイント		%	0.0	
		農業生産基盤の保全管理		緊急性を踏まえた更新等整備	—	—
			施設の健全度を踏まえた更新等整備	—	—	—
	施設の重要度を踏まえた更新等整備		—	—	—	
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	814	B
農業の高付加価値化			①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組	—	○ ○	A
		②地域活性化に係る話し合い	—	—	—	
		再生可能エネルギーの導入	—	B	B	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組 生態系・景観への配慮	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A	
		①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a —	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ⑤地域における開発計画と本事業との整合性 ⑥関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	緊急性		国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い	—	—	—
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	80.0	A

訓子府西部地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	3,554,096
当該事業による費用	②	2,341,140
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	1,212,956
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	49年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	11,136,186
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	3.13

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	区画整理	-	2,341,140	-	323,178	116,074	2,548,244
	計	-	2,341,140	-	323,178	116,074	2,548,244
そ の 他	道営造成施設	572,646	-	-	488,594	55,388	1,005,852
	計	572,646	-	-	488,594	55,388	1,005,852
合 計		572,646	2,341,140	-	811,772	171,462	3,554,096

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		407,820	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		199,803	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		49,869	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		657,492	

(4) 総便益額算出表－1

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分 に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	407,820	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	407,820	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	407,820	13.4	54,648	54,648	48,580	
4	R11	1.1699	4	-	407,820	26.9	109,704	109,704	93,772	
5	R12	1.2167	5	-	407,820	42.1	171,692	171,692	141,113	
6	R13	1.2653	6	-	407,820	57.5	234,497	234,497	185,329	
7	R14	1.3159	7	-	407,820	72.5	295,670	295,670	224,690	
8	R15	1.3686	8	-	407,820	85.7	349,502	349,502	255,372	
9	R16	1.4233	9	-	407,820	95.8	390,692	390,692	274,497	
10	R17	1.4802	10	-	407,820	100.0	407,820	407,820	275,517	
11	R18	1.5395	11	-	407,820	100.0	407,820	407,820	264,904	
12	R19	1.6010	12	-	407,820	100.0	407,820	407,820	254,728	
13	R20	1.6651	13	-	407,820	100.0	407,820	407,820	244,922	
14	R21	1.7317	14	-	407,820	100.0	407,820	407,820	235,503	
15	R22	1.8009	15	-	407,820	100.0	407,820	407,820	226,453	
16	R23	1.8730	16	-	407,820	100.0	407,820	407,820	217,736	
17	R24	1.9479	17	-	407,820	100.0	407,820	407,820	209,364	
18	R25	2.0258	18	-	407,820	100.0	407,820	407,820	201,313	
19	R26	2.1068	19	-	407,820	100.0	407,820	407,820	193,573	
20	R27	2.1911	20	-	407,820	100.0	407,820	407,820	186,126	
21	R28	2.2788	21	-	407,820	100.0	407,820	407,820	178,963	
22	R29	2.3699	22	-	407,820	100.0	407,820	407,820	172,083	
23	R30	2.4647	23	-	407,820	100.0	407,820	407,820	165,464	
24	R31	2.5633	24	-	407,820	100.0	407,820	407,820	159,100	
25	R32	2.6658	25	-	407,820	100.0	407,820	407,820	152,982	
26	R33	2.7725	26	-	407,820	100.0	407,820	407,820	147,095	
27	R34	2.8834	27	-	407,820	100.0	407,820	407,820	141,437	
28	R35	2.9987	28	-	407,820	100.0	407,820	407,820	135,999	
29	R36	3.1187	29	-	407,820	100.0	407,820	407,820	130,766	
30	R37	3.2434	30	-	407,820	100.0	407,820	407,820	125,738	
31	R38	3.3731	31	-	407,820	100.0	407,820	407,820	120,904	
32	R39	3.5081	32	-	407,820	100.0	407,820	407,820	116,251	
33	R40	3.6484	33	-	407,820	100.0	407,820	407,820	111,781	
34	R41	3.7943	34	-	407,820	100.0	407,820	407,820	107,482	
35	R42	3.9461	35	-	407,820	100.0	407,820	407,820	103,348	
36	R43	4.1039	36	-	407,820	100.0	407,820	407,820	99,374	
37	R44	4.2681	37	-	407,820	100.0	407,820	407,820	95,551	
38	R45	4.4388	38	-	407,820	100.0	407,820	407,820	91,876	
39	R46	4.6164	39	-	407,820	100.0	407,820	407,820	88,342	
40	R47	4.8010	40	-	407,820	100.0	407,820	407,820	84,945	
41	R48	4.9931	41	-	407,820	100.0	407,820	407,820	81,677	
42	R49	5.1928	42	-	407,820	100.0	407,820	407,820	78,536	
43	R50	5.4005	43	-	407,820	100.0	407,820	407,820	75,515	
44	R51	5.6165	44	-	407,820	100.0	407,820	407,820	72,611	
45	R52	5.8412	45	-	407,820	100.0	407,820	407,820	69,818	
46	R53	6.0748	46	-	407,820	100.0	407,820	407,820	67,133	
47	R54	6.3178	47	-	407,820	100.0	407,820	407,820	64,551	
48	R55	6.5705	48	-	407,820	100.0	407,820	407,820	62,068	
49	R56	6.8333	49	-	407,820	100.0	407,820	407,820	59,681	
合計 (総便益額)									6,894,563	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分 に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	199,803	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	199,803	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	199,803	14.5	28,971	28,971	25,754	
4	R11	1.1699	4	-	199,803	28.6	57,144	57,144	48,845	
5	R12	1.2167	5	-	199,803	44.3	88,513	88,513	72,748	
6	R13	1.2653	6	-	199,803	59.9	119,682	119,682	94,588	
7	R14	1.3159	7	-	199,803	75.1	150,052	150,052	114,030	
8	R15	1.3686	8	-	199,803	88.1	176,026	176,026	128,618	
9	R16	1.4233	9	-	199,803	96.5	192,810	192,810	135,467	
10	R17	1.4802	10	-	199,803	100.0	199,803	199,803	134,984	
11	R18	1.5395	11	-	199,803	100.0	199,803	199,803	129,784	
12	R19	1.6010	12	-	199,803	100.0	199,803	199,803	124,799	
13	R20	1.6651	13	-	199,803	100.0	199,803	199,803	119,995	
14	R21	1.7317	14	-	199,803	100.0	199,803	199,803	115,380	
15	R22	1.8009	15	-	199,803	100.0	199,803	199,803	110,946	
16	R23	1.8730	16	-	199,803	100.0	199,803	199,803	106,675	
17	R24	1.9479	17	-	199,803	100.0	199,803	199,803	102,574	
18	R25	2.0258	18	-	199,803	100.0	199,803	199,803	98,629	
19	R26	2.1068	19	-	199,803	100.0	199,803	199,803	94,837	
20	R27	2.1911	20	-	199,803	100.0	199,803	199,803	91,188	
21	R28	2.2788	21	-	199,803	100.0	199,803	199,803	87,679	
22	R29	2.3699	22	-	199,803	100.0	199,803	199,803	84,309	
23	R30	2.4647	23	-	199,803	100.0	199,803	199,803	81,066	
24	R31	2.5633	24	-	199,803	100.0	199,803	199,803	77,948	
25	R32	2.6658	25	-	199,803	100.0	199,803	199,803	74,950	
26	R33	2.7725	26	-	199,803	100.0	199,803	199,803	72,066	
27	R34	2.8834	27	-	199,803	100.0	199,803	199,803	69,294	
28	R35	2.9987	28	-	199,803	100.0	199,803	199,803	66,630	
29	R36	3.1187	29	-	199,803	100.0	199,803	199,803	64,066	
30	R37	3.2434	30	-	199,803	100.0	199,803	199,803	61,603	
31	R38	3.3731	31	-	199,803	100.0	199,803	199,803	59,234	
32	R39	3.5081	32	-	199,803	100.0	199,803	199,803	56,955	
33	R40	3.6484	33	-	199,803	100.0	199,803	199,803	54,765	
34	R41	3.7943	34	-	199,803	100.0	199,803	199,803	52,659	
35	R42	3.9461	35	-	199,803	100.0	199,803	199,803	50,633	
36	R43	4.1039	36	-	199,803	100.0	199,803	199,803	48,686	
37	R44	4.2681	37	-	199,803	100.0	199,803	199,803	46,813	
38	R45	4.4388	38	-	199,803	100.0	199,803	199,803	45,013	
39	R46	4.6164	39	-	199,803	100.0	199,803	199,803	43,281	
40	R47	4.8010	40	-	199,803	100.0	199,803	199,803	41,617	
41	R48	4.9931	41	-	199,803	100.0	199,803	199,803	40,016	
42	R49	5.1928	42	-	199,803	100.0	199,803	199,803	38,477	
43	R50	5.4005	43	-	199,803	100.0	199,803	199,803	36,997	
44	R51	5.6165	44	-	199,803	100.0	199,803	199,803	35,574	
45	R52	5.8412	45	-	199,803	100.0	199,803	199,803	34,206	
46	R53	6.0748	46	-	199,803	100.0	199,803	199,803	32,890	
47	R54	6.3178	47	-	199,803	100.0	199,803	199,803	31,625	
48	R55	6.5705	48	-	199,803	100.0	199,803	199,803	30,409	
49	R56	6.8333	49	-	199,803	100.0	199,803	199,803	29,240	
合計 (総便益額)									3,398,542	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分 に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	49,869	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	49,869	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	49,869	13.4	6,682	6,682	5,940	
4	R11	1.1699	4	-	49,869	26.9	13,415	13,415	11,467	
5	R12	1.2167	5	-	49,869	42.1	20,995	20,995	17,256	
6	R13	1.2653	6	-	49,869	57.5	28,675	28,675	22,663	
7	R14	1.3159	7	-	49,869	72.5	36,155	36,155	27,475	
8	R15	1.3686	8	-	49,869	85.7	42,738	42,738	31,228	
9	R16	1.4233	9	-	49,869	95.8	47,775	47,775	33,566	
10	R17	1.4802	10	-	49,869	100.0	49,869	49,869	33,691	
11	R18	1.5395	11	-	49,869	100.0	49,869	49,869	32,393	
12	R19	1.6010	12	-	49,869	100.0	49,869	49,869	31,149	
13	R20	1.6651	13	-	49,869	100.0	49,869	49,869	29,950	
14	R21	1.7317	14	-	49,869	100.0	49,869	49,869	28,798	
15	R22	1.8009	15	-	49,869	100.0	49,869	49,869	27,691	
16	R23	1.8730	16	-	49,869	100.0	49,869	49,869	26,625	
17	R24	1.9479	17	-	49,869	100.0	49,869	49,869	25,601	
18	R25	2.0258	18	-	49,869	100.0	49,869	49,869	24,617	
19	R26	2.1068	19	-	49,869	100.0	49,869	49,869	23,670	
20	R27	2.1911	20	-	49,869	100.0	49,869	49,869	22,760	
21	R28	2.2788	21	-	49,869	100.0	49,869	49,869	21,884	
22	R29	2.3699	22	-	49,869	100.0	49,869	49,869	21,043	
23	R30	2.4647	23	-	49,869	100.0	49,869	49,869	20,233	
24	R31	2.5633	24	-	49,869	100.0	49,869	49,869	19,455	
25	R32	2.6658	25	-	49,869	100.0	49,869	49,869	18,707	
26	R33	2.7725	26	-	49,869	100.0	49,869	49,869	17,987	
27	R34	2.8834	27	-	49,869	100.0	49,869	49,869	17,295	
28	R35	2.9987	28	-	49,869	100.0	49,869	49,869	16,630	
29	R36	3.1187	29	-	49,869	100.0	49,869	49,869	15,990	
30	R37	3.2434	30	-	49,869	100.0	49,869	49,869	15,376	
31	R38	3.3731	31	-	49,869	100.0	49,869	49,869	14,784	
32	R39	3.5081	32	-	49,869	100.0	49,869	49,869	14,215	
33	R40	3.6484	33	-	49,869	100.0	49,869	49,869	13,669	
34	R41	3.7943	34	-	49,869	100.0	49,869	49,869	13,143	
35	R42	3.9461	35	-	49,869	100.0	49,869	49,869	12,638	
36	R43	4.1039	36	-	49,869	100.0	49,869	49,869	12,152	
37	R44	4.2681	37	-	49,869	100.0	49,869	49,869	11,684	
38	R45	4.4388	38	-	49,869	100.0	49,869	49,869	11,235	
39	R46	4.6164	39	-	49,869	100.0	49,869	49,869	10,803	
40	R47	4.8010	40	-	49,869	100.0	49,869	49,869	10,387	
41	R48	4.9931	41	-	49,869	100.0	49,869	49,869	9,988	
42	R49	5.1928	42	-	49,869	100.0	49,869	49,869	9,603	
43	R50	5.4005	43	-	49,869	100.0	49,869	49,869	9,234	
44	R51	5.6165	44	-	49,869	100.0	49,869	49,869	8,879	
45	R52	5.8412	45	-	49,869	100.0	49,869	49,869	8,537	
46	R53	6.0748	46	-	49,869	100.0	49,869	49,869	8,209	
47	R54	6.3178	47	-	49,869	100.0	49,869	49,869	7,893	
48	R55	6.5705	48	-	49,869	100.0	49,869	49,869	7,590	
49	R56	6.8333	49	-	49,869	100.0	49,869	49,869	7,298	
合計 (総便益額)									843,081	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、てんさい、ばれいしょ（生食）、たまねぎ

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額^{※1}＋作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）×単価×単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）×単収×単価×作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×②÷100	生産物 単 価 ④	増 加 粗 収 益 額 ⑤＝③×④	純 益 率 ⑥	年 効 果 額 ⑦＝⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事 業 な かり せ ば 単 収	事 業 あ り せ ば 単 収	効 果 対 象 単 収 ②					
小麦	新設	128.8	128.8	1.4	単収増 (乾畑化Ⅰ)	567	737	170	2.4	-	-	-	-
				26.0	単収増 (土層改良Ⅰ)	567	624	57	14.8	-	-	-	-
				2.7	単収増 (乾畑化Ⅱ)	567	652	85	2.3	-	-	-	-
				2.9	単収増 (乾畑化Ⅲ)	567	737	170	4.9	-	-	-	-
				1.4	単収増 (乾畑化Ⅳ)	567	737	170	2.4	-	-	-	-
				56.1	単収増 (乾畑化Ⅴ)	567	737	170	95.4	-	-	-	-
				0.1	単収増 (乾畑化Ⅵ)	567	737	170	0.2	-	-	-	-
				43.7	単収増 (乾畑化Ⅶ)	567	737	170	74.3	-	-	-	-
					小計	-	-	-	196.7	63	12,392	87	10,781
					小麦 計	-	-	-	-	-	12,392	-	10,781
大豆	新設	55.6	55.6	0.6	単収増 (乾畑化Ⅰ)	282	367	85	0.5	-	-	-	-
				11.2	単収増 (土層改良Ⅰ)	282	310	28	3.1	-	-	-	-
				1.2	単収増 (乾畑化Ⅱ)	282	324	42	0.5	-	-	-	-
				1.2	単収増 (乾畑化Ⅲ)	282	367	85	1.0	-	-	-	-
				0.6	単収増 (乾畑化Ⅳ)	282	367	85	0.5	-	-	-	-
				24.3	単収増 (乾畑化Ⅴ)	282	367	85	20.7	-	-	-	-
				18.9	単収増 (乾畑化Ⅶ)	282	367	85	16.1	-	-	-	-
					小計	-	-	-	42.4	156	6,614	88	5,820
	大豆 計	-	-	-	-	-	6,614	-	5,820				
てんさい	新設	91.4	91.4	1.0	単収増 (乾畑化Ⅰ)	6,597	8,576	1,979	19.8	-	-	-	-
				18.5	単収増 (土層改良Ⅰ)	6,597	7,257	660	122.1	-	-	-	-
				1.9	単収増 (乾畑化Ⅱ)	6,597	7,587	990	18.8	-	-	-	-
				2.1	単収増 (乾畑化Ⅲ)	6,597	8,576	1,979	41.6	-	-	-	-
				1.0	単収増 (乾畑化Ⅳ)	6,597	8,576	1,979	19.8	-	-	-	-
				39.8	単収増 (乾畑化Ⅴ)	6,597	8,576	1,979	787.6	-	-	-	-
				31.0	単収増 (乾畑化Ⅶ)	6,597	8,576	1,979	613.5	-	-	-	-
					小計	-	-	-	1,623.2	13	21,102	86	18,148
	てんさい 計	-	-	-	-	-	21,102	-	18,148				

ばれいしょ (生食)	新設	122.8	122.8	1.4	単収増 (乾畑化Ⅰ)	4,307	5,599	1,292	18.1	-	-	-	-
				24.8	単収増 (土層改良Ⅰ)	4,307	4,738	431	106.9	-	-	-	-
				2.5	単収増 (乾畑化Ⅱ)	4,307	4,953	646	16.2	-	-	-	-
				2.8	単収増 (乾畑化Ⅲ)	4,307	5,599	1,292	36.2	-	-	-	-
				1.3	単収増 (乾畑化Ⅳ)	4,307	5,599	1,292	16.8	-	-	-	-
				53.5	単収増 (乾畑化Ⅴ)	4,307	5,599	1,292	691.2	-	-	-	-
				41.7	単収増 (乾畑化Ⅵ)	4,307	5,599	1,292	538.8	-	-	-	-
					小計	-	-	-	1,424.2	108	153,814	92	141,509
					ばれいしょ(生食) 計	-	-	-	-	-	153,814	-	141,509
たまねぎ	新設	152.0	152.0	1.7	単収増 (乾畑化Ⅰ)	5,863	7,622	1,759	29.9	-	-	-	-
				30.7	単収増 (土層改良Ⅰ)	5,863	6,449	586	179.9	-	-	-	-
				3.1	単収増 (乾畑化Ⅱ)	5,863	6,742	879	27.2	-	-	-	-
				3.4	単収増 (乾畑化Ⅲ)	5,863	7,622	1,759	59.8	-	-	-	-
				1.7	単収増 (乾畑化Ⅳ)	5,863	7,622	1,759	29.9	-	-	-	-
				66.2	単収増 (乾畑化Ⅴ)	5,863	7,622	1,759	1,164.5	-	-	-	-
				0.1	単収増 (乾畑化Ⅵ)	5,863	7,622	1,759	1.8	-	-	-	-
				51.6	単収増 (乾畑化Ⅶ)	5,863	7,622	1,759	907.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	2,400.6	106	254,464	91	231,562
					たまねぎ 計	-	-	-	-	-	254,464	-	231,562
普通畑 計	新設	550.6	550.6							448,386		407,820	
	更新												
	新設									448,386		407,820	
	更新												
	合計									448,386		407,820	

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり
「現況作付面積」・訓子府町の作付実績に基づき決定した。
「計画作付面積」・新設整備では、北海道、訓子府町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
- ・単 収 :増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
「事業ありせば単収」・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 :JA聞き取り等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 :「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、てんさい、ばれいしょ（生食）、たまねぎ

○効果算定式

年効果額＝（事業なかりせば単位面積当り営農経費－事業ありせば単位面積当り営農経費）
×効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤＝ (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
小麦（区画整理）	1,894,482	1,281,066	-	-	613,416	128.8	79,008
大豆（区画整理）	1,788,467	1,227,028	-	-	561,439	55.6	31,216
てんさい（区画整理）	1,466,630	1,159,442	-	-	307,188	91.4	28,077
ばれいしょ（生食） （区画整理）	1,469,505	1,221,736	-	-	247,769	122.8	30,426
たまねぎ（区画整理）	2,131,221	1,926,774	-	-	204,447	152.0	31,076
新 設							199,803
更 新							-
合 計							199,803

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

・現況営農経費：地域の営農経費であり、北海道の農業経営指標等に基づき算定した。

・計画営農経費：想定される事業により増減した地域の営農経費であり、北海道の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。

(3) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、てんさい、ばれいしょ（生食）、たまねぎ

○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額（原単位）
 + 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産額 当たり効果額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	448,386	2,818,021	49	9.9	49,869
更新整備	-	-	49	9.9	-
合計	448,386	2,818,021			49,869

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）〔改訂版〕「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農村計画課調べ

【便益】

- ・ 農林水産省北海道農政事務所（令和元年～令和6年）「北海道農林水産統計年報」
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、北海道農村計画課調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3) 農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名: 北海道)(地区名: 第2置戸)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農家経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3) 農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名: 北海道)(地区名: 第2置戸)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ —	B
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	376	B
			スマート農業技術等の導入	—	A	A
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	16.4	B
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	0.0	
			高収益作物の作付率	—	—	—
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	100.0	A
			農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	100.0
		②作付率の増加ポイント		%	0.0	
		農業生産基盤の保全管理	緊急性を踏まえた更新等整備	—	A	A
			施設の健全度を踏まえた更新等整備	—	B	B
			施設の重要度を踏まえた更新等整備	—	B	B
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	750	B
農業の高付加価値化		①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話し合い	—	○ ○	A	
再生可能エネルギーの導入		小水力発電等の再生可能エネルギーの導入	—	B	B	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A	
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a —	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	—	—
	関係計画との連携		①都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ⑤地域における開発計画と本事業との整合性 ⑥関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議(予備)の状況 ②その他着工前に重要な協議(予備)の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等(営農支援体制)の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	緊急性		国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い	—	—	—
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	58.8	B

第2 置戸地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	2,339,870
当該事業による費用	②	2,103,778
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	236,092
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	49年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	4,585,266
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.95

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥＝ ①＋②＋③ ＋④－⑤
当 該 事 業	区画整理	-	1,686,680	-	216,733	78,851	1,824,562
	農業用排水施設	-	123,385	-	17,844	12,133	129,096
	農業用道路	-	293,713	-	47,283	24,811	316,185
	計	-	2,103,778	-	281,860	115,795	2,269,843
そ の 他	道営造成施設	30,215	-	-	44,412	4,600	70,027
	計	30,215	-	-	44,412	4,600	70,027
合 計		30,215	2,103,778	-	326,272	120,395	2,339,870

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		152,675	農業用排水施設及び農道の整備、区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
品質向上効果		1,643	農業用排水施設及び農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の単価が維持、向上する効果
営農経費節減効果		50,390	農業用排水施設及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 210	農業用排水施設及び農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
営農に係る走行経費節減効果		25,319	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農業交通に係る走行経費が増減する効果
農村の振興に関する効果			
一般交通等経費節減効果		569	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での一般交通等に係る走行経費が増減する効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		33,130	農業用排水施設及び農道の整備、区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		263,516	

(4) 総便益額算出表－1

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	338	152,337	0.0	0	338	325	
2	R9	1.0816	2	338	152,337	0.0	0	338	313	
3	R10	1.1249	3	338	152,337	9.8	14,929	15,267	13,572	
4	R11	1.1699	4	338	152,337	38.3	58,345	58,683	50,161	
5	R12	1.2167	5	338	152,337	48.1	73,274	73,612	60,501	
6	R13	1.2653	6	338	152,337	61.0	92,926	93,264	73,709	
7	R14	1.3159	7	338	152,337	70.8	107,855	108,193	82,220	
8	R15	1.3686	8	338	152,337	80.6	122,784	123,122	89,962	
9	R16	1.4233	9	338	152,337	90.3	137,560	137,898	96,886	
10	R17	1.4802	10	338	152,337	100.0	152,337	152,675	103,145	
11	R18	1.5395	11	338	152,337	100.0	152,337	152,675	99,172	
12	R19	1.6010	12	338	152,337	100.0	152,337	152,675	95,362	
13	R20	1.6651	13	338	152,337	100.0	152,337	152,675	91,691	
14	R21	1.7317	14	338	152,337	100.0	152,337	152,675	88,165	
15	R22	1.8009	15	338	152,337	100.0	152,337	152,675	84,777	
16	R23	1.8730	16	338	152,337	100.0	152,337	152,675	81,514	
17	R24	1.9479	17	338	152,337	100.0	152,337	152,675	78,379	
18	R25	2.0258	18	338	152,337	100.0	152,337	152,675	75,365	
19	R26	2.1068	19	338	152,337	100.0	152,337	152,675	72,468	
20	R27	2.1911	20	338	152,337	100.0	152,337	152,675	69,680	
21	R28	2.2788	21	338	152,337	100.0	152,337	152,675	66,998	
22	R29	2.3699	22	338	152,337	100.0	152,337	152,675	64,423	
23	R30	2.4647	23	338	152,337	100.0	152,337	152,675	61,945	
24	R31	2.5633	24	338	152,337	100.0	152,337	152,675	59,562	
25	R32	2.6658	25	338	152,337	100.0	152,337	152,675	57,272	
26	R33	2.7725	26	338	152,337	100.0	152,337	152,675	55,068	
27	R34	2.8834	27	338	152,337	100.0	152,337	152,675	52,950	
28	R35	2.9987	28	338	152,337	100.0	152,337	152,675	50,914	
29	R36	3.1187	29	338	152,337	100.0	152,337	152,675	48,955	
30	R37	3.2434	30	338	152,337	100.0	152,337	152,675	47,073	
31	R38	3.3731	31	338	152,337	100.0	152,337	152,675	45,263	
32	R39	3.5081	32	338	152,337	100.0	152,337	152,675	43,521	
33	R40	3.6484	33	338	152,337	100.0	152,337	152,675	41,847	
34	R41	3.7943	34	338	152,337	100.0	152,337	152,675	40,238	
35	R42	3.9461	35	338	152,337	100.0	152,337	152,675	38,690	
36	R43	4.1039	36	338	152,337	100.0	152,337	152,675	37,202	
37	R44	4.2681	37	338	152,337	100.0	152,337	152,675	35,771	
38	R45	4.4388	38	338	152,337	100.0	152,337	152,675	34,396	
39	R46	4.6164	39	338	152,337	100.0	152,337	152,675	33,072	
40	R47	4.8010	40	338	152,337	100.0	152,337	152,675	31,801	
41	R48	4.9931	41	338	152,337	100.0	152,337	152,675	30,577	
42	R49	5.1928	42	338	152,337	100.0	152,337	152,675	29,401	
43	R50	5.4005	43	338	152,337	100.0	152,337	152,675	28,271	
44	R51	5.6165	44	338	152,337	100.0	152,337	152,675	27,183	
45	R52	5.8412	45	338	152,337	100.0	152,337	152,675	26,138	
46	R53	6.0748	46	338	152,337	100.0	152,337	152,675	25,133	
47	R54	6.3178	47	338	152,337	100.0	152,337	152,675	24,166	
48	R55	6.5705	48	338	152,337	100.0	152,337	152,675	23,236	
49	R56	6.8333	49	338	152,337	100.0	152,337	152,675	22,343	
合計（総便益額）									2,590,776	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	品質向上効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	1,643	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	1,643	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	1,643	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	1,643	0.0	0	0	0	
5	R12	1.2167	5	-	1,643	0.0	0	0	0	
6	R13	1.2653	6	-	1,643	100.0	1,643	1,643	1,299	
7	R14	1.3159	7	-	1,643	100.0	1,643	1,643	1,249	
8	R15	1.3686	8	-	1,643	100.0	1,643	1,643	1,200	
9	R16	1.4233	9	-	1,643	100.0	1,643	1,643	1,154	
10	R17	1.4802	10	-	1,643	100.0	1,643	1,643	1,110	
11	R18	1.5395	11	-	1,643	100.0	1,643	1,643	1,067	
12	R19	1.6010	12	-	1,643	100.0	1,643	1,643	1,026	
13	R20	1.6651	13	-	1,643	100.0	1,643	1,643	987	
14	R21	1.7317	14	-	1,643	100.0	1,643	1,643	949	
15	R22	1.8009	15	-	1,643	100.0	1,643	1,643	912	
16	R23	1.8730	16	-	1,643	100.0	1,643	1,643	877	
17	R24	1.9479	17	-	1,643	100.0	1,643	1,643	843	
18	R25	2.0258	18	-	1,643	100.0	1,643	1,643	811	
19	R26	2.1068	19	-	1,643	100.0	1,643	1,643	780	
20	R27	2.1911	20	-	1,643	100.0	1,643	1,643	750	
21	R28	2.2788	21	-	1,643	100.0	1,643	1,643	721	
22	R29	2.3699	22	-	1,643	100.0	1,643	1,643	693	
23	R30	2.4647	23	-	1,643	100.0	1,643	1,643	667	
24	R31	2.5633	24	-	1,643	100.0	1,643	1,643	641	
25	R32	2.6658	25	-	1,643	100.0	1,643	1,643	616	
26	R33	2.7725	26	-	1,643	100.0	1,643	1,643	593	
27	R34	2.8834	27	-	1,643	100.0	1,643	1,643	570	
28	R35	2.9987	28	-	1,643	100.0	1,643	1,643	548	
29	R36	3.1187	29	-	1,643	100.0	1,643	1,643	527	
30	R37	3.2434	30	-	1,643	100.0	1,643	1,643	507	
31	R38	3.3731	31	-	1,643	100.0	1,643	1,643	487	
32	R39	3.5081	32	-	1,643	100.0	1,643	1,643	468	
33	R40	3.6484	33	-	1,643	100.0	1,643	1,643	450	
34	R41	3.7943	34	-	1,643	100.0	1,643	1,643	433	
35	R42	3.9461	35	-	1,643	100.0	1,643	1,643	416	
36	R43	4.1039	36	-	1,643	100.0	1,643	1,643	400	
37	R44	4.2681	37	-	1,643	100.0	1,643	1,643	385	
38	R45	4.4388	38	-	1,643	100.0	1,643	1,643	370	
39	R46	4.6164	39	-	1,643	100.0	1,643	1,643	356	
40	R47	4.8010	40	-	1,643	100.0	1,643	1,643	342	
41	R48	4.9931	41	-	1,643	100.0	1,643	1,643	329	
42	R49	5.1928	42	-	1,643	100.0	1,643	1,643	316	
43	R50	5.4005	43	-	1,643	100.0	1,643	1,643	304	
44	R51	5.6165	44	-	1,643	100.0	1,643	1,643	293	
45	R52	5.8412	45	-	1,643	100.0	1,643	1,643	281	
46	R53	6.0748	46	-	1,643	100.0	1,643	1,643	270	
47	R54	6.3178	47	-	1,643	100.0	1,643	1,643	260	
48	R55	6.5705	48	-	1,643	100.0	1,643	1,643	250	
49	R56	6.8333	49	-	1,643	100.0	1,643	1,643	240	
合計 (総便益額)										27,747

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分 に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	50,390	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	50,390	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	50,390	9.6	4,837	4,837	4,300	
4	R11	1.1699	4	-	50,390	42.4	21,365	21,365	18,262	
5	R12	1.2167	5	-	50,390	52.0	26,203	26,203	21,536	
6	R13	1.2653	6	-	50,390	61.6	31,040	31,040	24,532	
7	R14	1.3159	7	-	50,390	71.3	35,928	35,928	27,303	
8	R15	1.3686	8	-	50,390	80.9	40,766	40,766	29,787	
9	R16	1.4233	9	-	50,390	90.5	45,603	45,603	32,040	
10	R17	1.4802	10	-	50,390	100.0	50,390	50,390	34,043	
11	R18	1.5395	11	-	50,390	100.0	50,390	50,390	32,731	
12	R19	1.6010	12	-	50,390	100.0	50,390	50,390	31,474	
13	R20	1.6651	13	-	50,390	100.0	50,390	50,390	30,262	
14	R21	1.7317	14	-	50,390	100.0	50,390	50,390	29,099	
15	R22	1.8009	15	-	50,390	100.0	50,390	50,390	27,980	
16	R23	1.8730	16	-	50,390	100.0	50,390	50,390	26,903	
17	R24	1.9479	17	-	50,390	100.0	50,390	50,390	25,869	
18	R25	2.0258	18	-	50,390	100.0	50,390	50,390	24,874	
19	R26	2.1068	19	-	50,390	100.0	50,390	50,390	23,918	
20	R27	2.1911	20	-	50,390	100.0	50,390	50,390	22,998	
21	R28	2.2788	21	-	50,390	100.0	50,390	50,390	22,113	
22	R29	2.3699	22	-	50,390	100.0	50,390	50,390	21,263	
23	R30	2.4647	23	-	50,390	100.0	50,390	50,390	20,445	
24	R31	2.5633	24	-	50,390	100.0	50,390	50,390	19,658	
25	R32	2.6658	25	-	50,390	100.0	50,390	50,390	18,902	
26	R33	2.7725	26	-	50,390	100.0	50,390	50,390	18,175	
27	R34	2.8834	27	-	50,390	100.0	50,390	50,390	17,476	
28	R35	2.9987	28	-	50,390	100.0	50,390	50,390	16,804	
29	R36	3.1187	29	-	50,390	100.0	50,390	50,390	16,157	
30	R37	3.2434	30	-	50,390	100.0	50,390	50,390	15,536	
31	R38	3.3731	31	-	50,390	100.0	50,390	50,390	14,939	
32	R39	3.5081	32	-	50,390	100.0	50,390	50,390	14,364	
33	R40	3.6484	33	-	50,390	100.0	50,390	50,390	13,812	
34	R41	3.7943	34	-	50,390	100.0	50,390	50,390	13,280	
35	R42	3.9461	35	-	50,390	100.0	50,390	50,390	12,770	
36	R43	4.1039	36	-	50,390	100.0	50,390	50,390	12,279	
37	R44	4.2681	37	-	50,390	100.0	50,390	50,390	11,806	
38	R45	4.4388	38	-	50,390	100.0	50,390	50,390	11,352	
39	R46	4.6164	39	-	50,390	100.0	50,390	50,390	10,915	
40	R47	4.8010	40	-	50,390	100.0	50,390	50,390	10,496	
41	R48	4.9931	41	-	50,390	100.0	50,390	50,390	10,092	
42	R49	5.1928	42	-	50,390	100.0	50,390	50,390	9,704	
43	R50	5.4005	43	-	50,390	100.0	50,390	50,390	9,331	
44	R51	5.6165	44	-	50,390	100.0	50,390	50,390	8,972	
45	R52	5.8412	45	-	50,390	100.0	50,390	50,390	8,627	
46	R53	6.0748	46	-	50,390	100.0	50,390	50,390	8,295	
47	R54	6.3178	47	-	50,390	100.0	50,390	50,390	7,976	
48	R55	6.5705	48	-	50,390	100.0	50,390	50,390	7,669	
49	R56	6.8333	49	-	50,390	100.0	50,390	50,390	7,374	
合計 (総便益額)									858,493	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 718	508	0.0	0	△ 718	△ 690	
2	R9	1.0816	2	△ 718	508	0.0	0	△ 718	△ 664	
3	R10	1.1249	3	△ 718	508	0.0	0	△ 718	△ 638	
4	R11	1.1699	4	△ 718	508	91.9	467	△ 251	△ 215	
5	R12	1.2167	5	△ 718	508	91.9	467	△ 251	△ 206	
6	R13	1.2653	6	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 166	
7	R14	1.3159	7	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 160	
8	R15	1.3686	8	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 153	
9	R16	1.4233	9	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 148	
10	R17	1.4802	10	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 142	
11	R18	1.5395	11	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 136	
12	R19	1.6010	12	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 131	
13	R20	1.6651	13	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 126	
14	R21	1.7317	14	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 121	
15	R22	1.8009	15	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 117	
16	R23	1.8730	16	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 112	
17	R24	1.9479	17	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 108	
18	R25	2.0258	18	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 104	
19	R26	2.1068	19	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 100	
20	R27	2.1911	20	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 96	
21	R28	2.2788	21	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 92	
22	R29	2.3699	22	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 89	
23	R30	2.4647	23	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 85	
24	R31	2.5633	24	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 82	
25	R32	2.6658	25	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 79	
26	R33	2.7725	26	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 76	
27	R34	2.8834	27	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 73	
28	R35	2.9987	28	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 70	
29	R36	3.1187	29	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 67	
30	R37	3.2434	30	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 65	
31	R38	3.3731	31	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 62	
32	R39	3.5081	32	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 60	
33	R40	3.6484	33	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 58	
34	R41	3.7943	34	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 55	
35	R42	3.9461	35	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 53	
36	R43	4.1039	36	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 51	
37	R44	4.2681	37	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 49	
38	R45	4.4388	38	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 47	
39	R46	4.6164	39	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 45	
40	R47	4.8010	40	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 44	
41	R48	4.9931	41	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 42	
42	R49	5.1928	42	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 40	
43	R50	5.4005	43	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 39	
44	R51	5.6165	44	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 37	
45	R52	5.8412	45	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 36	
46	R53	6.0748	46	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 35	
47	R54	6.3178	47	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 33	
48	R55	6.5705	48	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 32	
49	R56	6.8333	49	△ 718	508	100.0	508	△ 210	△ 31	
合計 (総便益額)									△ 5,960	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	営農に係る走行経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	25,228	91	0.0	0	25,228	24,258	
2	R9	1.0816	2	25,228	91	0.0	0	25,228	23,325	
3	R10	1.1249	3	25,228	91	0.0	0	25,228	22,427	
4	R11	1.1699	4	25,228	91	0.0	0	25,228	21,564	
5	R12	1.2167	5	25,228	91	0.0	0	25,228	20,735	
6	R13	1.2653	6	25,228	91	100.0	91	25,319	20,010	
7	R14	1.3159	7	25,228	91	100.0	91	25,319	19,241	
8	R15	1.3686	8	25,228	91	100.0	91	25,319	18,500	
9	R16	1.4233	9	25,228	91	100.0	91	25,319	17,789	
10	R17	1.4802	10	25,228	91	100.0	91	25,319	17,105	
11	R18	1.5395	11	25,228	91	100.0	91	25,319	16,446	
12	R19	1.6010	12	25,228	91	100.0	91	25,319	15,814	
13	R20	1.6651	13	25,228	91	100.0	91	25,319	15,206	
14	R21	1.7317	14	25,228	91	100.0	91	25,319	14,621	
15	R22	1.8009	15	25,228	91	100.0	91	25,319	14,059	
16	R23	1.8730	16	25,228	91	100.0	91	25,319	13,518	
17	R24	1.9479	17	25,228	91	100.0	91	25,319	12,998	
18	R25	2.0258	18	25,228	91	100.0	91	25,319	12,498	
19	R26	2.1068	19	25,228	91	100.0	91	25,319	12,018	
20	R27	2.1911	20	25,228	91	100.0	91	25,319	11,555	
21	R28	2.2788	21	25,228	91	100.0	91	25,319	11,111	
22	R29	2.3699	22	25,228	91	100.0	91	25,319	10,684	
23	R30	2.4647	23	25,228	91	100.0	91	25,319	10,273	
24	R31	2.5633	24	25,228	91	100.0	91	25,319	9,878	
25	R32	2.6658	25	25,228	91	100.0	91	25,319	9,498	
26	R33	2.7725	26	25,228	91	100.0	91	25,319	9,132	
27	R34	2.8834	27	25,228	91	100.0	91	25,319	8,781	
28	R35	2.9987	28	25,228	91	100.0	91	25,319	8,443	
29	R36	3.1187	29	25,228	91	100.0	91	25,319	8,118	
30	R37	3.2434	30	25,228	91	100.0	91	25,319	7,806	
31	R38	3.3731	31	25,228	91	100.0	91	25,319	7,506	
32	R39	3.5081	32	25,228	91	100.0	91	25,319	7,217	
33	R40	3.6484	33	25,228	91	100.0	91	25,319	6,940	
34	R41	3.7943	34	25,228	91	100.0	91	25,319	6,673	
35	R42	3.9461	35	25,228	91	100.0	91	25,319	6,416	
36	R43	4.1039	36	25,228	91	100.0	91	25,319	6,169	
37	R44	4.2681	37	25,228	91	100.0	91	25,319	5,932	
38	R45	4.4388	38	25,228	91	100.0	91	25,319	5,704	
39	R46	4.6164	39	25,228	91	100.0	91	25,319	5,485	
40	R47	4.8010	40	25,228	91	100.0	91	25,319	5,274	
41	R48	4.9931	41	25,228	91	100.0	91	25,319	5,071	
42	R49	5.1928	42	25,228	91	100.0	91	25,319	4,876	
43	R50	5.4005	43	25,228	91	100.0	91	25,319	4,688	
44	R51	5.6165	44	25,228	91	100.0	91	25,319	4,508	
45	R52	5.8412	45	25,228	91	100.0	91	25,319	4,335	
46	R53	6.0748	46	25,228	91	100.0	91	25,319	4,168	
47	R54	6.3178	47	25,228	91	100.0	91	25,319	4,008	
48	R55	6.5705	48	25,228	91	100.0	91	25,319	3,853	
49	R56	6.8333	49	25,228	91	100.0	91	25,319	3,705	
合計 (総便益額)									539,939	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-6

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	一般交通等経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引 率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	303	266	0.0	0	303	291	
2	R9	1.0816	2	303	266	0.0	0	303	280	
3	R10	1.1249	3	303	266	0.0	0	303	269	
4	R11	1.1699	4	303	266	0.0	0	303	259	
5	R12	1.2167	5	303	266	0.0	0	303	249	
6	R13	1.2653	6	303	266	100.0	266	569	450	
7	R14	1.3159	7	303	266	100.0	266	569	432	
8	R15	1.3686	8	303	266	100.0	266	569	416	
9	R16	1.4233	9	303	266	100.0	266	569	400	
10	R17	1.4802	10	303	266	100.0	266	569	384	
11	R18	1.5395	11	303	266	100.0	266	569	370	
12	R19	1.6010	12	303	266	100.0	266	569	355	
13	R20	1.6651	13	303	266	100.0	266	569	342	
14	R21	1.7317	14	303	266	100.0	266	569	329	
15	R22	1.8009	15	303	266	100.0	266	569	316	
16	R23	1.8730	16	303	266	100.0	266	569	304	
17	R24	1.9479	17	303	266	100.0	266	569	292	
18	R25	2.0258	18	303	266	100.0	266	569	281	
19	R26	2.1068	19	303	266	100.0	266	569	270	
20	R27	2.1911	20	303	266	100.0	266	569	260	
21	R28	2.2788	21	303	266	100.0	266	569	250	
22	R29	2.3699	22	303	266	100.0	266	569	240	
23	R30	2.4647	23	303	266	100.0	266	569	231	
24	R31	2.5633	24	303	266	100.0	266	569	222	
25	R32	2.6658	25	303	266	100.0	266	569	213	
26	R33	2.7725	26	303	266	100.0	266	569	205	
27	R34	2.8834	27	303	266	100.0	266	569	197	
28	R35	2.9987	28	303	266	100.0	266	569	190	
29	R36	3.1187	29	303	266	100.0	266	569	182	
30	R37	3.2434	30	303	266	100.0	266	569	175	
31	R38	3.3731	31	303	266	100.0	266	569	169	
32	R39	3.5081	32	303	266	100.0	266	569	162	
33	R40	3.6484	33	303	266	100.0	266	569	156	
34	R41	3.7943	34	303	266	100.0	266	569	150	
35	R42	3.9461	35	303	266	100.0	266	569	144	
36	R43	4.1039	36	303	266	100.0	266	569	139	
37	R44	4.2681	37	303	266	100.0	266	569	133	
38	R45	4.4388	38	303	266	100.0	266	569	128	
39	R46	4.6164	39	303	266	100.0	266	569	123	
40	R47	4.8010	40	303	266	100.0	266	569	119	
41	R48	4.9931	41	303	266	100.0	266	569	114	
42	R49	5.1928	42	303	266	100.0	266	569	110	
43	R50	5.4005	43	303	266	100.0	266	569	105	
44	R51	5.6165	44	303	266	100.0	266	569	101	
45	R52	5.8412	45	303	266	100.0	266	569	97	
46	R53	6.0748	46	303	266	100.0	266	569	94	
47	R54	6.3178	47	303	266	100.0	266	569	90	
48	R55	6.5705	48	303	266	100.0	266	569	87	
49	R56	6.8333	49	303	266	100.0	266	569	83	
合計 (総便益額)									10,958	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-7

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	83	33,047	0.0	0	83	80	
2	R9	1.0816	2	83	33,047	0.0	0	83	77	
3	R10	1.1249	3	83	33,047	9.9	3,272	3,355	2,982	
4	R11	1.1699	4	83	33,047	40.6	13,417	13,500	11,539	
5	R12	1.2167	5	83	33,047	50.5	16,689	16,772	13,785	
6	R13	1.2653	6	83	33,047	60.6	20,026	20,109	15,893	
7	R14	1.3159	7	83	33,047	70.5	23,298	23,381	17,768	
8	R15	1.3686	8	83	33,047	80.4	26,570	26,653	19,475	
9	R16	1.4233	9	83	33,047	90.2	29,808	29,891	21,001	
10	R17	1.4802	10	83	33,047	100.0	33,047	33,130	22,382	
11	R18	1.5395	11	83	33,047	100.0	33,047	33,130	21,520	
12	R19	1.6010	12	83	33,047	100.0	33,047	33,130	20,693	
13	R20	1.6651	13	83	33,047	100.0	33,047	33,130	19,897	
14	R21	1.7317	14	83	33,047	100.0	33,047	33,130	19,131	
15	R22	1.8009	15	83	33,047	100.0	33,047	33,130	18,396	
16	R23	1.8730	16	83	33,047	100.0	33,047	33,130	17,688	
17	R24	1.9479	17	83	33,047	100.0	33,047	33,130	17,008	
18	R25	2.0258	18	83	33,047	100.0	33,047	33,130	16,354	
19	R26	2.1068	19	83	33,047	100.0	33,047	33,130	15,725	
20	R27	2.1911	20	83	33,047	100.0	33,047	33,130	15,120	
21	R28	2.2788	21	83	33,047	100.0	33,047	33,130	14,538	
22	R29	2.3699	22	83	33,047	100.0	33,047	33,130	13,979	
23	R30	2.4647	23	83	33,047	100.0	33,047	33,130	13,442	
24	R31	2.5633	24	83	33,047	100.0	33,047	33,130	12,925	
25	R32	2.6658	25	83	33,047	100.0	33,047	33,130	12,428	
26	R33	2.7725	26	83	33,047	100.0	33,047	33,130	11,950	
27	R34	2.8834	27	83	33,047	100.0	33,047	33,130	11,490	
28	R35	2.9987	28	83	33,047	100.0	33,047	33,130	11,048	
29	R36	3.1187	29	83	33,047	100.0	33,047	33,130	10,623	
30	R37	3.2434	30	83	33,047	100.0	33,047	33,130	10,215	
31	R38	3.3731	31	83	33,047	100.0	33,047	33,130	9,822	
32	R39	3.5081	32	83	33,047	100.0	33,047	33,130	9,444	
33	R40	3.6484	33	83	33,047	100.0	33,047	33,130	9,081	
34	R41	3.7943	34	83	33,047	100.0	33,047	33,130	8,732	
35	R42	3.9461	35	83	33,047	100.0	33,047	33,130	8,396	
36	R43	4.1039	36	83	33,047	100.0	33,047	33,130	8,073	
37	R44	4.2681	37	83	33,047	100.0	33,047	33,130	7,762	
38	R45	4.4388	38	83	33,047	100.0	33,047	33,130	7,464	
39	R46	4.6164	39	83	33,047	100.0	33,047	33,130	7,177	
40	R47	4.8010	40	83	33,047	100.0	33,047	33,130	6,901	
41	R48	4.9931	41	83	33,047	100.0	33,047	33,130	6,635	
42	R49	5.1928	42	83	33,047	100.0	33,047	33,130	6,380	
43	R50	5.4005	43	83	33,047	100.0	33,047	33,130	6,135	
44	R51	5.6165	44	83	33,047	100.0	33,047	33,130	5,899	
45	R52	5.8412	45	83	33,047	100.0	33,047	33,130	5,672	
46	R53	6.0748	46	83	33,047	100.0	33,047	33,130	5,454	
47	R54	6.3178	47	83	33,047	100.0	33,047	33,130	5,244	
48	R55	6.5705	48	83	33,047	100.0	33,047	33,130	5,042	
49	R56	6.8333	49	83	33,047	100.0	33,047	33,130	4,848	
合計 (総便益額)									563,313	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、てんさい、ばれいしょ（生食）、たまねぎ、青刈りとうもろこし、牧草

○年効果額算定式

年効果額 = 単収増加年効果額^{※1} + 作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額 = 作付面積 × (事業ありせば単収 - 事業なかりせば単収) × 単価 × 単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額 = (事業ありせば作付面積 - 事業なかりせば作付面積) × 単収 × 単価 × 作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③ = ①×②÷100	生産物単価 ④ 千円/t	増加粗収益額 ⑤ = ③×④ 千円	純益率 ⑥ %	年効果額 ⑦ = ⑤×⑥ 千円			
		現況	計画	効果発生面積 ① ha		事業なかりせば単収 kg/10a	事業ありせば単収 kg/10a	効果対象単収 ② kg/10a								
小麦	新設	143.8	143.8	1.0	単収増 (乾畑化Ⅰ)	536	697	161	1.6	-	-	-	-			
				27.6	単収増 (土層改良Ⅰ)	536	590	54	14.9	-	-	-	-			
				0.9	単収増 (乾畑化Ⅱ)	536	616	80	0.7	-	-	-	-			
				2.7	単収増 (土層改良Ⅱ)	536	643	107	2.9	-	-	-	-			
				6.0	単収増 (乾畑化Ⅲ)	536	697	161	9.7	-	-	-	-			
				0.2	単収増 (防塵)	536	616	80	0.2	-	-	-	-			
				0.1	単収増 (乾畑化Ⅳ)	536	697	161	0.2	-	-	-	-			
				21.2	単収増 (乾畑化Ⅴ)	536	697	161	34.1	-	-	-	-			
				0.3	単収増 (乾畑化Ⅵ)	536	697	161	0.5	-	-	-	-			
				23.9	単収増 (乾畑化Ⅶ)	536	697	161	38.5	-	-	-	-			
				27.1	単収増 (乾畑化Ⅷ)	536	616	80	21.7	-	-	-	-			
				0.1	単収増 (乾畑化Ⅸ)	536	697	161	0.2	-	-	-	-			
				0.1	単収増 (乾畑化Ⅹ)	536	697	161	0.2	-	-	-	-			
				1.3	単収増 (乾畑化Ⅺ)	536	697	161	2.1	-	-	-	-			
					小計	-	-	-	-	-	-	127.5	63	8,033	87	6,989
					0.0	作付増減	-	-	720	0.0	-	-	-	-	-	-
		小計	-	-	-	-	-	-	0.0	63	0	-	-			
	更新	143.8	143.8		減産防止 (水害防止)	-	536	0	0.0	-	-	-	-			
	小計	-	-	-	-	-	-	0.0	63	0	87	0				
	小麦 計	-	-	-	-	-	-	-	-	8,033	-	6,989				

大豆	新設	33.6	33.6	0.3	単収増 (乾畑化Ⅰ)	266	346	80	0.2	-	-	-	-				
				6.4	単収増 (土層改良Ⅰ)	266	293	27	1.7	-	-	-	-				
				0.2	単収増 (乾畑化Ⅱ)	266	306	40	0.1	-	-	-	-				
				0.6	単収増 (土層改良Ⅱ)	266	319	53	0.3	-	-	-	-				
				1.4	単収増 (乾畑化Ⅲ)	266	346	80	1.1	-	-	-	-				
				0.1	単収増 (防塵)	266	319	53	0.1	-	-	-	-				
				4.9	単収増 (乾畑化Ⅴ)	266	346	80	3.9	-	-	-	-				
				0.1	単収増 (乾畑化Ⅵ)	266	346	80	0.1	-	-	-	-				
				5.6	単収増 (乾畑化Ⅶ)	266	346	80	4.5	-	-	-	-				
				6.3	単収増 (乾畑化Ⅷ)	266	306	40	2.5	-	-	-	-				
				0.3	単収増 (乾畑化Ⅸ)	266	346	80	0.2	-	-	-	-				
					小計	-	-	-	14.7	156	2,293	88	2,018	-	-		
				0.0	作付増減	-	-	330	0.0	-	-	-	-	-			
					小計	-	-	-	0.0	156	0	88	-	-			
	更新	33.6	33.6		減産防止 (湿俊かんがい)		266	0	0.0	-	-	-					
					小計	-	-	-	0.0	156	0	88	0				
					大豆 計	-	-	-	-	-	2,293	-	2,018				
てんさい	新設	113.2	113.2	0.9	単収増 (乾畑化Ⅰ)	5,774	-	-	-	-	-	-	-				
				21.7	単収増 (土層改良Ⅰ)	5,774	7,506	1,732	375.8	-	-	-	-				
				0.7	単収増 (乾畑化Ⅱ)	5,774	6,351	577	4.0	-	-	-	-				
				2.1	単収増 (土層改良Ⅱ)	5,774	6,640	866	18.2	-	-	-	-				
				4.7	単収増 (乾畑化Ⅲ)	5,774	6,929	1,155	54.3	-	-	-	-				
				0.1	単収増 (乾畑化Ⅳ)	5,774	7,506	1,732	1.7	-	-	-	-				
				0.2	単収増 (防塵)	5,774	6,351	577	1.2	-	-	-	-				
				16.6	単収増 (乾畑化Ⅴ)	5,774	7,506	1,732	287.5	-	-	-	-				
				0.3	単収増 (乾畑化Ⅵ)	5,774	7,506	1,732	5.2	-	-	-	-				
				18.8	単収増 (乾畑化Ⅶ)	5,774	7,506	1,732	325.6	-	-	-	-				
				21.3	単収増 (乾畑化Ⅷ)	5,774	7,506	1,732	368.9	-	-	-	-				
				0.1	単収増 (乾畑化Ⅸ)	5,774	7,506	1,732	1.7	-	-	-	-				
				1.0	単収増 (乾畑化Ⅹ)	5,774	7,506	1,732	17.3	-	-	-	-				
					小計	-	-	-	1,461.4	13	18,998	86	16,338	-	-		
0.0	作付増減	-	-	288	0.0	-	-	-	-	-							
	小計	-	-	-	0.0	13	0	-	-	-							
	更新	113.2	113.2	113.2	減産防止 (湿俊かんがい)	5,771	5,774	3	3.4	-	-	-					
					小計	-	-	-	3.4	13	44	86	38				
					てんさい 計	-	-	-	-	-	19,042	-	16,376				
ばれいしょ (生食)	新設	107.7	107.7	0.8	単収増 (乾畑化Ⅰ)	4,379	5,693	1,314	10.5	-	-	-	-				
				20.6	単収増 (土層改良Ⅰ)	4,379	4,817	438	90.2	-	-	-	-				
				0.7	単収増 (乾畑化Ⅱ)	4,379	5,036	657	4.6	-	-	-	-				
				2.0	単収増 (土層改良Ⅱ)	4,379	5,255	876	17.5	-	-	-	-				
				4.5	単収増 (乾畑化Ⅲ)	4,379	5,693	1,314	59.1	-	-	-	-				
				15.8	単収増 (乾畑化Ⅳ)	4,379	5,693	1,314	207.6	-	-	-	-				
				0.2	単収増 (乾畑化Ⅴ)	4,379	5,693	1,314	2.6	-	-	-	-				
				17.9	単収増 (乾畑化Ⅵ)	4,379	5,693	1,314	235.2	-	-	-	-				
				20.3	単収増 (乾畑化Ⅶ)	4,379	5,036	657	133.4	-	-	-	-				
				1.0	単収増 (乾畑化Ⅷ)	4,379	5,693	1,314	13.1	-	-	-	-				
					小計	-	-	-	773.8	108	83,570	92	76,884	-	-		
					更新	107.7	107.7	107.7	減産防止 (湿俊かんがい)	4,377	4,379	2	2.2	-	-	-	
									小計	-	-	-	2.2	108	238	92	219
									ばれいしょ (生食) 計	-	-	-	-	-	83,808	-	77,103

たまねぎ	新設	33.0	33.0	0.3	単収増 (乾畑化Ⅰ)	5,996	7,795	1,799	5.4	-	-	-	-			
				6.3	単収増 (土層改良Ⅰ)	5,996	6,596	600	37.8	-	-	-	-			
				0.2	単収増 (乾畑化Ⅱ)	5,996	6,895	899	1.8	-	-	-	-			
				0.6	単収増 (土層改良Ⅱ)	5,996	7,195	1,199	7.2	-	-	-	-			
				1.4	単収増 (乾畑化Ⅲ)	5,996	7,795	1,799	25.2	-	-	-	-			
				4.8	単収増 (乾畑化Ⅳ)	5,996	7,795	1,799	86.4	-	-	-	-			
				0.1	単収増 (乾畑化Ⅴ)	5,996	7,795	1,799	1.8	-	-	-	-			
				5.5	単収増 (乾畑化Ⅵ)	5,996	7,795	1,799	98.9	-	-	-	-			
				6.2	単収増 (乾畑化Ⅶ)	5,996	6,895	899	55.7	-	-	-	-			
				0.3	単収増 (乾畑化Ⅷ)	5,996	7,795	1,799	5.4	-	-	-	-			
					小計	-	-	-	325.6	106	34,514	91	31,408			
				0.0	作付増減	-	-	6,983	0.0	-	-	-	-			
					小計	-	-	-	0.0	106	0	31	-			
				更新	33.0	33.0		減産防止 (湿俊かんがい)	5,217	5,996	779	0.0	-	-	-	-
	小計	-	-				-	0.0	106	0	91	0				
				たまねぎ 計	-	-	-	-	-	34,514	-	31,408				
青刈りとうもろこし	新設	87.5	87.5	0.7	単収増 (乾畑化Ⅰ)	5,500	7,150	1,650	11.6	-	-	-	-			
				16.7	単収増 (土層改良Ⅰ)	5,500	6,050	550	91.9	-	-	-	-			
				0.5	単収増 (乾畑化Ⅱ)	5,500	6,325	825	4.1	-	-	-	-			
				1.6	単収増 (土層改良Ⅱ)	5,500	6,600	1,100	17.6	-	-	-	-			
				3.7	単収増 (乾畑化Ⅲ)	5,500	7,150	1,650	61.1	-	-	-	-			
				0.5	単収増 (防塵)	5,500	6,325	825	4.1	-	-	-	-			
				12.8	単収増 (乾畑化Ⅳ)	5,500	7,150	1,650	211.2	-	-	-	-			
				0.2	単収増 (乾畑化Ⅴ)	5,500	7,150	1,650	3.3	-	-	-	-			
				14.5	単収増 (乾畑化Ⅵ)	5,500	7,150	1,650	239.3	-	-	-	-			
				16.5	単収増 (乾畑化Ⅶ)	5,500	6,325	825	136.1	-	-	-	-			
				0.8	単収増 (乾畑化Ⅷ)	5,500	7,150	1,650	13.2	-	-	-	-			
					小計	-	-	-	793.5	76	60,306	23	13,870			
				更新	87.5	87.5	87.5	減産防止 (湿俊かんがい)	5,496	5,500	4	3.5	-	-	-	-
								小計	-	-	-	3.5	76	266	23	61
				青刈りとうもろこし 計	-	-	-	-	-	60,572	-	13,931				
牧草	新設	93.0	93.0	0.7	単収増 (乾畑化Ⅰ)	3,000	3,900	900	6.3	-	-	-	-			
				17.8	単収増 (土層改良Ⅰ)	3,000	3,300	300	53.4	-	-	-	-			
				0.6	単収増 (乾畑化Ⅱ)	3,000	3,450	450	2.7	-	-	-	-			
				1.7	単収増 (土層改良Ⅱ)	3,000	3,600	600	10.2	-	-	-	-			
				3.9	単収増 (乾畑化Ⅲ)	3,000	3,900	900	35.1	-	-	-	-			
				13.6	単収増 (乾畑化Ⅳ)	3,000	3,900	900	122.4	-	-	-	-			
				0.2	単収増 (乾畑化Ⅴ)	3,000	3,900	900	1.8	-	-	-	-			
				15.4	単収増 (乾畑化Ⅵ)	3,000	3,900	900	138.6	-	-	-	-			
				17.5	単収増 (乾畑化Ⅶ)	3,000	3,450	450	78.8	-	-	-	-			
				0.8	単収増 (乾畑化Ⅷ)	3,000	3,900	900	7.2	-	-	-	-			
					小計	-	-	-	456.5	46	20,999	23	4,830			
				更新	93.0	93.0	93.0	減産防止 (湿俊かんがい)	2,998	3,000	2	1.9	-	-	-	-
								小計	-	-	-	1.9	46	87	23	20
								牧草 計	-	-	-	-	-	21,086	-	4,830
普通畑計	新設	611.8	611.8								228,713		152,337			
	更新	611.8	611.8								635		338			
	新設										228,713		152,337			
	更新										635		338			
	合計										229,348		152,675			

(2) 品質向上効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の生産物の商品化率の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

たまねぎ

○効果算定式

年効果額 = 効果対象数量 × 商品化向上率 × 生産物単価

○年効果額の算定

作物名	効果要因	生産量 ①	商品化向上率		効果対象数量		生産物 単価 ⑥	年効果額		
			事業 なかり せば ②	事業 ありせば ③	現況－事業 なかりせば ④＝ ①×②	事業ありせば－現況 ⑤＝ ①×③		現況－事業な かりせば ⑦＝ ④×⑥	事業ありせば －現況 ⑧＝ ⑤×⑥	計 ⑨＝ ⑦＋⑧
たまねぎ	荷傷み 防止	t 773	% -	% 2	t -	t 16	106	千円 -	千円 1,643	千円 1,643
畑計								-	1,643	1,643
新設									1,643	1,643
更新								-		-
合計										1,643

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

- ・生産量 : 当該効果を発生させる農道の受益に係る現況の生産量。
- ・商品化向上率 : 「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を使用。
- ・生産物単価 : 農作物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。

(3) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、てんさい、ばれいしょ（生食）、たまねぎ、青刈りとうもろこし、牧草

○効果算定式

年効果額＝（事業なかりせば単位面積当り営農経費－事業ありせば単位面積当り営農経費）
×効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤＝ (①-②) + (③-④)	効果 発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥	
	新 設		更 新					
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④				
小麦（区画整理・農業用排水施設）	円 417,569	円 358,077	円 -	円 -	円 59,492	ha 143.8	千円 8,555	
大豆（区画整理・農業用排水施設）	469,072	419,132	-	-	49,940	33.6	1,678	
てんさい（区画整理・農業用排水施設）	894,685	798,828	-	-	95,857	113.2	10,851	
ばれいしょ（生食）（区画整理・農業用排水施設）	1,043,253	923,532	-	-	119,721	107.7	12,894	
たまねぎ（区画整理・農業用排水施設）	1,877,814	1,734,238	-	-	143,576	33.0	4,738	
青刈りとうもろこし（区画整理・農業用排水施設）	564,242	498,985	-	-	65,257	87.5	5,710	
牧草（更新）（区画整理・農業用排水施設）	979,710	962,022	-	-	17,688	93.0	1,645	
牧草（乾草）（区画整理・農業用排水施設）	415,560	404,829	-	-	10,731	93.0	998	
牧草（サイレージ）（区画整理・農業用排水施設）	461,062	425,352	-	-	35,710	93.0	3,321	
新 設								50,390
更 新								-
合 計								50,390

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・ 現況営農経費 : 地域の営農経費であり、北海道の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・ 計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、北海道の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。

(4) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

支線農道、排水路

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		1,683	1,175	508
更新整備		965	1,683	△ 718
合 計				△ 210

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(5) 営農に係る走行経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の農業交通に係る走行経費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設 支線農道

○効果算定式

年効果額 = 事業なかりせば走行経費 - 事業ありせば走行経費

○年効果額の算定

区分	新設	現況走行経費①	事業ありせば走行経費②	年効果額 ③=①-②
	更新	事業なかりせば走行経費①	現況走行経費②	
		千円	千円	千円
新設整備		8,618	8,527	91
更新整備		33,846	8,618	25,228
合計				25,319

- ・事業なかりせば走行経費 : 整備した道路の機能が喪失した状態において想定される農業交通に係る走行経費を算定した。
- ・事業ありせば走行経費 : 道路の整備後における農業交通に係る走行経費を算定した。
- ・現況走行経費 : 現況の農業交通に係る走行経費を基に算定した。

(6) 一般交通等経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の一般交通に係る経費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

支線農道

○効果算定式

年効果額 = 事業なかりせば走行経費 - 事業ありせば走行経費

○年効果額の算定

区分	新設	現況走行経費①	事業ありせば走行経費②	年効果額 ③=①-②
	更新	事業なかりせば走行経費①	現況走行経費②	
		千円	千円	千円
新設整備		469	203	266
更新整備		772	469	303
合計				569

・事業なかりせば走行経費

：整備した農道の機能が喪失した状態において想定される一般交通等に係る走行経費を基に算定した。

・事業ありせば走行経費

：道路の整備後における一般交通等に係る走行経費を算定した。

・現況走行経費

：現況の一般交通等に係る走行経費を基に算定した。

(7) その他の効果 (国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay : 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method : 仮想市場法) により年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大豆、てんさい、ばれいしょ (生食)、たまねぎ、青刈りとうもろこし、牧草

○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額 (原単位)
 + 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額 (原単位)

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	228,713	2,206,057	49	9.9	33,047
更新整備	635	5,242	49	9.9	83
合計	229,348	2,211,299			33,130

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額 (原単位) は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額 (原単位) は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）〔改訂版〕「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農村計画課調べ

【便益】

- ・ 農林水産省北海道農政事務所（令和元年～令和6年）「北海道農林水産統計年報」
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、北海道農村計画課調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3) 農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名: 北海道)(地区名: 東藻琴中部)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農家経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-3) 農業競争力強化基盤整備事業

(水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業(うち簡易整備型を除く))、
水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業))

(9) 土地改良施設突発事故復旧・防止事業(補助)のうち土地改良施設事故防止事業

(都道府県名: 北海道)(地区名: 東藻琴中部)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価	
大項目	中項目	小項目					
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ —	B	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	375	B	
			スマート農業技術等の導入	—	A	A	
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	17.8	B	
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	0.1		
			高収益作物の作付率	—	—	—	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率		%	100.0	A
			農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	100.0	A
		②作付率の増加ポイント		%	0.1		
		農業生産基盤の保全管理	緊急性を踏まえた更新等整備		—	A	A
			施設の健全度を踏まえた更新等整備		—	B	B
施設の重要度を踏まえた更新等整備			—	B	B		
農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)		千円/ha・年	434	B	
	農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話し合い		—	○ ○	A	
	再生可能エネルギーの導入	小水力発電等の再生可能エネルギーの導入		—	B	B	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組		—	A	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況		—	A	A	
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況		—	a a —	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	—	—
	関係計画との連携		①都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ⑤地域における開発計画と本事業との整合性 ⑥関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い	—	—	—
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	58.8	B

東藻琴中部地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	1,779,754
当該事業による費用	②	1,531,645
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	248,109
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	49年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	3,260,184
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.83

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点)	当該事業に よる費用	関連事業に よる費用	再整備費	資産価額 (評価期間 終了時点)	総費用 ⑥＝ ①＋②＋③ ＋④－⑤
		①	②	③	④	⑤	
当 該 事 業	区画整理	-	1,165,624	-	127,957	38,224	1,255,357
	農業用排水施設	54,095	366,021	-	47,319	44,947	422,488
	計	54,095	1,531,645	-	175,276	83,171	1,677,845
そ の 他	道宮造成施設	33,085	-	-	80,927	12,103	101,909
	計	33,085	-	-	80,927	12,103	101,909
合 計		87,180	1,531,645	-	256,203	95,274	1,779,754

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		82,164	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		78,520	農業用排水施設整備及び区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 1,268	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		29,897	農業用排水施設整備及び区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		189,313	

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	17,529	64,635	0.0	0	17,529	16,855	
2	R9	1.0816	2	17,529	64,635	0.0	0	17,529	16,207	
3	R10	1.1249	3	17,529	64,635	9.1	5,882	23,411	20,812	
4	R11	1.1699	4	17,529	64,635	21.7	14,026	31,555	26,972	
5	R12	1.2167	5	17,529	64,635	36.1	23,333	40,862	33,584	
6	R13	1.2653	6	17,529	64,635	49.3	31,865	49,394	39,037	
7	R14	1.3159	7	17,529	64,635	60.6	39,169	56,698	43,087	
8	R15	1.3686	8	17,529	64,635	72.3	46,731	64,260	46,953	
9	R16	1.4233	9	17,529	64,635	95.0	61,403	78,932	55,457	
10	R17	1.4802	10	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	55,509	
11	R18	1.5395	11	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	53,371	
12	R19	1.6010	12	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	51,320	
13	R20	1.6651	13	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	49,345	
14	R21	1.7317	14	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	47,447	
15	R22	1.8009	15	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	45,624	
16	R23	1.8730	16	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	43,868	
17	R24	1.9479	17	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	42,181	
18	R25	2.0258	18	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	40,559	
19	R26	2.1068	19	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	38,999	
20	R27	2.1911	20	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	37,499	
21	R28	2.2788	21	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	36,056	
22	R29	2.3699	22	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	34,670	
23	R30	2.4647	23	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	33,336	
24	R31	2.5633	24	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	32,054	
25	R32	2.6658	25	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	30,822	
26	R33	2.7725	26	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	29,635	
27	R34	2.8834	27	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	28,496	
28	R35	2.9987	28	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	27,400	
29	R36	3.1187	29	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	26,346	
30	R37	3.2434	30	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	25,333	
31	R38	3.3731	31	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	24,359	
32	R39	3.5081	32	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	23,421	
33	R40	3.6484	33	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	22,521	
34	R41	3.7943	34	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	21,655	
35	R42	3.9461	35	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	20,822	
36	R43	4.1039	36	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	20,021	
37	R44	4.2681	37	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	19,251	
38	R45	4.4388	38	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	18,510	
39	R46	4.6164	39	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	17,798	
40	R47	4.8010	40	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	17,114	
41	R48	4.9931	41	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	16,456	
42	R49	5.1928	42	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	15,823	
43	R50	5.4005	43	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	15,214	
44	R51	5.6165	44	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	14,629	
45	R52	5.8412	45	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	14,066	
46	R53	6.0748	46	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	13,525	
47	R54	6.3178	47	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	13,005	
48	R55	6.5705	48	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	12,505	
49	R56	6.8333	49	17,529	64,635	100.0	64,635	82,164	12,024	
合計 (総便益額)									1,441,553	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分 に係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	78,520	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	78,520	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	78,520	10.8	8,480	8,480	7,538	
4	R11	1.1699	4	-	78,520	27.4	21,514	21,514	18,390	
5	R12	1.2167	5	-	78,520	46.2	36,276	36,276	29,815	
6	R13	1.2653	6	-	78,520	57.8	45,385	45,385	35,869	
7	R14	1.3159	7	-	78,520	65.2	51,195	51,195	38,905	
8	R15	1.3686	8	-	78,520	71.8	56,377	56,377	41,193	
9	R16	1.4233	9	-	78,520	96.6	75,850	75,850	53,292	
10	R17	1.4802	10	-	78,520	100.0	78,520	78,520	53,047	
11	R18	1.5395	11	-	78,520	100.0	78,520	78,520	51,004	
12	R19	1.6010	12	-	78,520	100.0	78,520	78,520	49,044	
13	R20	1.6651	13	-	78,520	100.0	78,520	78,520	47,156	
14	R21	1.7317	14	-	78,520	100.0	78,520	78,520	45,343	
15	R22	1.8009	15	-	78,520	100.0	78,520	78,520	43,600	
16	R23	1.8730	16	-	78,520	100.0	78,520	78,520	41,922	
17	R24	1.9479	17	-	78,520	100.0	78,520	78,520	40,310	
18	R25	2.0258	18	-	78,520	100.0	78,520	78,520	38,760	
19	R26	2.1068	19	-	78,520	100.0	78,520	78,520	37,270	
20	R27	2.1911	20	-	78,520	100.0	78,520	78,520	35,836	
21	R28	2.2788	21	-	78,520	100.0	78,520	78,520	34,457	
22	R29	2.3699	22	-	78,520	100.0	78,520	78,520	33,132	
23	R30	2.4647	23	-	78,520	100.0	78,520	78,520	31,858	
24	R31	2.5633	24	-	78,520	100.0	78,520	78,520	30,632	
25	R32	2.6658	25	-	78,520	100.0	78,520	78,520	29,455	
26	R33	2.7725	26	-	78,520	100.0	78,520	78,520	28,321	
27	R34	2.8834	27	-	78,520	100.0	78,520	78,520	27,232	
28	R35	2.9987	28	-	78,520	100.0	78,520	78,520	26,185	
29	R36	3.1187	29	-	78,520	100.0	78,520	78,520	25,177	
30	R37	3.2434	30	-	78,520	100.0	78,520	78,520	24,209	
31	R38	3.3731	31	-	78,520	100.0	78,520	78,520	23,278	
32	R39	3.5081	32	-	78,520	100.0	78,520	78,520	22,382	
33	R40	3.6484	33	-	78,520	100.0	78,520	78,520	21,522	
34	R41	3.7943	34	-	78,520	100.0	78,520	78,520	20,694	
35	R42	3.9461	35	-	78,520	100.0	78,520	78,520	19,898	
36	R43	4.1039	36	-	78,520	100.0	78,520	78,520	19,133	
37	R44	4.2681	37	-	78,520	100.0	78,520	78,520	18,397	
38	R45	4.4388	38	-	78,520	100.0	78,520	78,520	17,689	
39	R46	4.6164	39	-	78,520	100.0	78,520	78,520	17,009	
40	R47	4.8010	40	-	78,520	100.0	78,520	78,520	16,355	
41	R48	4.9931	41	-	78,520	100.0	78,520	78,520	15,726	
42	R49	5.1928	42	-	78,520	100.0	78,520	78,520	15,121	
43	R50	5.4005	43	-	78,520	100.0	78,520	78,520	14,539	
44	R51	5.6165	44	-	78,520	100.0	78,520	78,520	13,980	
45	R52	5.8412	45	-	78,520	100.0	78,520	78,520	13,442	
46	R53	6.0748	46	-	78,520	100.0	78,520	78,520	12,926	
47	R54	6.3178	47	-	78,520	100.0	78,520	78,520	12,428	
48	R55	6.5705	48	-	78,520	100.0	78,520	78,520	11,950	
49	R56	6.8333	49	-	78,520	100.0	78,520	78,520	11,491	
合計 (総便益額)									1,316,912	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 1,429	161	0.0	0	△ 1,429	△ 1,374	
2	R9	1.0816	2	△ 1,429	161	0.0	0	△ 1,429	△ 1,321	
3	R10	1.1249	3	△ 1,429	161	0.0	0	△ 1,429	△ 1,270	
4	R11	1.1699	4	△ 1,429	161	0.0	0	△ 1,429	△ 1,221	
5	R12	1.2167	5	△ 1,429	161	0.0	0	△ 1,429	△ 1,174	
6	R13	1.2653	6	△ 1,429	161	0.0	0	△ 1,429	△ 1,129	
7	R14	1.3159	7	△ 1,429	161	0.0	0	△ 1,429	△ 1,086	
8	R15	1.3686	8	△ 1,429	161	0.0	0	△ 1,429	△ 1,044	
9	R16	1.4233	9	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 891	
10	R17	1.4802	10	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 857	
11	R18	1.5395	11	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 824	
12	R19	1.6010	12	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 792	
13	R20	1.6651	13	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 762	
14	R21	1.7317	14	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 732	
15	R22	1.8009	15	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 704	
16	R23	1.8730	16	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 677	
17	R24	1.9479	17	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 651	
18	R25	2.0258	18	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 626	
19	R26	2.1068	19	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 602	
20	R27	2.1911	20	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 579	
21	R28	2.2788	21	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 556	
22	R29	2.3699	22	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 535	
23	R30	2.4647	23	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 514	
24	R31	2.5633	24	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 495	
25	R32	2.6658	25	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 476	
26	R33	2.7725	26	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 457	
27	R34	2.8834	27	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 440	
28	R35	2.9987	28	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 423	
29	R36	3.1187	29	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 407	
30	R37	3.2434	30	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 391	
31	R38	3.3731	31	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 376	
32	R39	3.5081	32	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 361	
33	R40	3.6484	33	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 348	
34	R41	3.7943	34	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 334	
35	R42	3.9461	35	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 321	
36	R43	4.1039	36	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 309	
37	R44	4.2681	37	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 297	
38	R45	4.4388	38	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 286	
39	R46	4.6164	39	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 275	
40	R47	4.8010	40	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 264	
41	R48	4.9931	41	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 254	
42	R49	5.1928	42	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 244	
43	R50	5.4005	43	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 235	
44	R51	5.6165	44	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 226	
45	R52	5.8412	45	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 217	
46	R53	6.0748	46	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 209	
47	R54	6.3178	47	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 201	
48	R55	6.5705	48	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 193	
49	R56	6.8333	49	△ 1,429	161	100.0	161	△ 1,268	△ 186	
合計 (総便益額)									△ 28,146	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－4

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過 年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	6,510	23,387	0.0	0	6,510	6,260	
2	R9	1.0816	2	6,510	23,387	0.0	0	6,510	6,019	
3	R10	1.1249	3	6,510	23,387	11.4	2,666	9,176	8,157	
4	R11	1.1699	4	6,510	23,387	25.5	5,964	12,474	10,662	
5	R12	1.2167	5	6,510	23,387	41.4	9,682	16,192	13,308	
6	R13	1.2653	6	6,510	23,387	54.2	12,676	19,186	15,163	
7	R14	1.3159	7	6,510	23,387	64.3	15,038	21,548	16,375	
8	R15	1.3686	8	6,510	23,387	75.6	17,681	24,191	17,676	
9	R16	1.4233	9	6,510	23,387	96.9	22,662	29,172	20,496	
10	R17	1.4802	10	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	20,198	
11	R18	1.5395	11	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	19,420	
12	R19	1.6010	12	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	18,674	
13	R20	1.6651	13	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	17,955	
14	R21	1.7317	14	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	17,265	
15	R22	1.8009	15	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	16,601	
16	R23	1.8730	16	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	15,962	
17	R24	1.9479	17	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	15,348	
18	R25	2.0258	18	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	14,758	
19	R26	2.1068	19	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	14,191	
20	R27	2.1911	20	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	13,645	
21	R28	2.2788	21	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	13,120	
22	R29	2.3699	22	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	12,615	
23	R30	2.4647	23	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	12,130	
24	R31	2.5633	24	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	11,663	
25	R32	2.6658	25	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	11,215	
26	R33	2.7725	26	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	10,783	
27	R34	2.8834	27	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	10,369	
28	R35	2.9987	28	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	9,970	
29	R36	3.1187	29	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	9,586	
30	R37	3.2434	30	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	9,218	
31	R38	3.3731	31	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	8,863	
32	R39	3.5081	32	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	8,522	
33	R40	3.6484	33	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	8,195	
34	R41	3.7943	34	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	7,879	
35	R42	3.9461	35	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	7,576	
36	R43	4.1039	36	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	7,285	
37	R44	4.2681	37	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	7,005	
38	R45	4.4388	38	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	6,735	
39	R46	4.6164	39	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	6,476	
40	R47	4.8010	40	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	6,227	
41	R48	4.9931	41	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	5,988	
42	R49	5.1928	42	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	5,757	
43	R50	5.4005	43	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	5,536	
44	R51	5.6165	44	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	5,323	
45	R52	5.8412	45	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	5,118	
46	R53	6.0748	46	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	4,921	
47	R54	6.3178	47	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	4,732	
48	R55	6.5705	48	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	4,550	
49	R56	6.8333	49	6,510	23,387	100.0	23,387	29,897	4,375	
合計 (総便益額)									529,865	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、小豆、てんさい、たまねぎ、ばれいしょ（加工）

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額^{※1}＋作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）
×単価×単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）
×単収×単価×作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単収			生産増減量 ③＝ ①×②÷100	生産物単価 ④ 千円/t	増加粗収益額 ⑤＝③×④ 千円	純益率 ⑥ %	年効果額 ⑦＝⑤×⑥ 千円
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収 kg/10a	事業ありせば単収 kg/10a	効果対象単収 ② kg/10a					
小麦	新設	144.3	144.4	24.9	単収増(乾畑化Ⅰ)	620	806	186	46.3	-	-	-	-
				0.3	単収増(乾畑化Ⅱ)	620	806	186	0.6	-	-	-	-
				10.1	単収増(乾畑化Ⅲ)	620	806	186	18.8	-	-	-	-
				2.3	単収増(乾畑化Ⅳ)	620	806	186	4.3	-	-	-	-
				1.1	単収増(乾畑化Ⅴ)	620	806	186	2.0	-	-	-	-
				55.9	単収増(乾畑化Ⅵ)	620	713	93	52.0	-	-	-	-
				19.3	単収増(土層改良Ⅰ)	620	682	62	12.0	-	-	-	-
				24.8	単収増(乾畑化Ⅶ)	620	713	93	23.1	-	-	-	-
					小計	-	-	-	159.1	54	8,591	87	7,474
				0.1	作付増	-	-	730	0.7	-	-	-	-
		小計	-	-	-	0.7	54	38	-	-			
	更新	144.3	144.3	144.3	減産防止(水害防止)	588	620	32	46.2	-	-	-	
					小計	-	-	-	46.2	54	2,495	87	2,171
					小麦計	-	-	-	-	-	11,124	-	9,645
小豆	新設	32.3	32.3	5.6	単収増(乾畑化Ⅰ)	205	267	62	3.5	-	-	-	-
				0.1	単収増(乾畑化Ⅱ)	205	267	62	0.1	-	-	-	-
				2.3	単収増(乾畑化Ⅲ)	205	267	62	1.4	-	-	-	-
				0.5	単収増(乾畑化Ⅳ)	205	267	62	0.3	-	-	-	-
				0.2	単収増(乾畑化Ⅴ)	205	267	62	0.1	-	-	-	-
				12.5	単収増(乾畑化Ⅵ)	205	236	31	3.9	-	-	-	-
				4.3	単収増(土層改良Ⅰ)	205	226	21	0.9	-	-	-	-
				5.5	単収増(乾畑化Ⅶ)	205	236	31	1.7	-	-	-	-
					小計	-	-	-	11.9	378	4,498	88	3,958
	0.0	作付増減	-	-	-	0.0	-	-	-	-			
		小計	-	-	-	0.0	378	0	-	-			
更新	32.3	32.3	32.3	減産防止(水害防止)	195	205	10	3.2	-	-	-		
				小計	-	-	-	3.2	378	1,210	88	1,065	
				小豆計	-	-	-	-	-	5,708	-	5,023	

てんさい	新設	149.4	149.5	0.1	単収増 (乾畑化Ⅰ)	7,308	9,500	2,192	2.2	-	-	-	-	
				26.0	単収増 (乾畑化Ⅱ)	7,308	9,500	2,192	569.9	-	-	-	-	
				0.4	単収増 (乾畑化Ⅲ)	7,308	9,500	2,192	8.8	-	-	-	-	
				10.4	単収増 (乾畑化Ⅳ)	7,308	9,500	2,192	228.0	-	-	-	-	
				2.4	単収増 (乾畑化Ⅴ)	7,308	9,500	2,192	52.6	-	-	-	-	
				1.1	単収増 (乾畑化Ⅵ)	7,308	9,500	2,192	24.1	-	-	-	-	
				57.9	単収増 (乾畑化Ⅶ)	7,308	8,404	1,096	634.6	-	-	-	-	
				20.0	単収増 (土層改良Ⅰ)	7,308	8,039	731	146.2	-	-	-	-	
				25.7	単収増 (乾畑化Ⅷ)	7,308	8,404	1,096	281.7	-	-	-	-	
					小計					1,948.1	10	19,481	86	16,754
	0.1	作付増					8,612	8.6	-	-	-			
		小計					8.6	10	86	-	-			
	更新	149.4	149.4	149.4	減産防止 (水害防止)	6,946	7,308	362	540.8	-	-	-	-	
					小計					540.8	10	5,408	86	4,651
				てんさい 計						24,975		21,405		
たまねぎ	新設	17.4	17.4	3.0	単収増 (乾畑化Ⅰ)	6,562	8,531	1,969	59.1	-	-	-	-	
				1.2	単収増 (乾畑化Ⅱ)	6,562	8,531	1,969	23.6	-	-	-	-	
				0.3	単収増 (乾畑化Ⅲ)	6,562	8,531	1,969	5.9	-	-	-	-	
				0.1	単収増 (乾畑化Ⅳ)	6,562	8,531	1,969	2.0	-	-	-	-	
				6.7	単収増 (乾畑化Ⅴ)	6,562	7,546	984	65.9	-	-	-	-	
				2.3	単収増 (土層改良Ⅰ)	6,562	7,218	656	15.1	-	-	-	-	
				3.0	単収増 (乾畑化Ⅵ)	6,562	7,546	984	29.5	-	-	-	-	
					小計					201.1	72	14,479	91	13,176
				0.0	作付増					8,299	0.0	-	-	-
					小計					0.0	72	0	16	-
更新	17.4	17.4	17.4	減産防止 (水害防止)	6,309	6,562	253	44.0	-	-	-	-		
				小計					44.0	72	3,168	91	2,883	
				たまねぎ 計						17,647		16,059		
ばれい しょ (加工)	新設	81.1	81.2	14.0	単収増 (乾畑化Ⅰ)	4,268	5,548	1,280	179.2	-	-	-	-	
				0.2	単収増 (乾畑化Ⅱ)	4,268	5,548	1,280	2.6	-	-	-	-	
				5.7	単収増 (乾畑化Ⅲ)	4,268	5,548	1,280	73.0	-	-	-	-	
				1.2	単収増 (乾畑化Ⅳ)	4,268	5,548	1,280	15.4	-	-	-	-	
				0.7	単収増 (乾畑化Ⅴ)	4,268	5,548	1,280	9.0	-	-	-	-	
				31.4	単収増 (乾畑化Ⅵ)	4,268	4,908	640	201.0	-	-	-	-	
				10.8	単収増 (土層改良Ⅰ)	4,268	4,695	427	46.1	-	-	-	-	
				13.9	単収増 (乾畑化Ⅶ)	4,268	4,908	640	89.0	-	-	-	-	
					小計					615.3	41	25,227	92	23,209
				0.1	作付増					5,027	5.0	-	-	-
	小計					5.0	41	205	31	64				
更新	81.1	81.1	81.1	減産防止 (水害防止)	4,047	4,268	221	179.2	-	-	-	-		
				小計					179.2	41	7,347	92	6,759	
				ばれいしょ (加工) 計						32,779		30,032		
普通畑 計	新設	424.5	424.8								72,605		64,635	
	更新	424.5	424.5								19,628		17,529	
	新設										72,605		64,635	
	更新										19,628		17,529	
	合計										92,233		82,164	

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり
「現況作付面積」 ・大空町の作付実績に基づき決定した。
「計画作付面積」 ・新設整備では、北海道、大空町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。

- ・単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
 - 「事業なかりせば単収」
 - ・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
 - ・更新整備では、排水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
 - 「事業ありせば単収」
 - ・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
 - ・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
 - 「効果算定対象単収」
 - ・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収、水害防止については施設整備による被害防止量である。)
- ・生産物単価 : JA聞き取り等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、小豆、てんさい、たまねぎ、ばれいしょ（加工）

○効果算定式

年効果額＝（事業なかりせば単位面積当り営農経費－事業ありせば単位面積当り営農経費）
×効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤＝ (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
小麦（区画整理・農業用排水施設）	円 763,542	円 588,002	円 -	円 -	円 175,540	ha 144.4	千円 25,348
小豆（区画整理・農業用排水施設）	1,036,035	849,162	-	-	186,873	32.3	6,036
てんさい（区画整理・農業用排水施設）	1,019,140	880,076	-	-	139,064	149.5	20,790
たまねぎ（区画整理・農業用排水施設）	3,832,816	3,264,598	-	-	568,218	17.4	9,887
ばれいしょ（加工）（区画整理・農業用排水施設）	1,367,557	1,164,860	-	-	202,697	81.2	16,459
新 設							78,520
更 新							-
合 計							78,520

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、北海道の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、北海道の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

排水路

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		1,922	1,761	161
更新整備		493	1,922	△ 1,429
合計				△ 1,268

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(4) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、小豆、てんさい、たまねぎ、ばれいしょ（加工）

○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額（原単位）
 + 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額（円/千円） ③	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千kcal） ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	72,605	2,002,962	49	9.9	23,387
更新整備	19,628	560,470	49	9.9	6,510
合計	92,233	2,563,432			29,897

- ・ 増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・ 単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道農村計画課調べ

【便益】

- ・ 農林水産省北海道農政事務所（令和元年～令和6年）「北海道農林水産統計年報」
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、北海道農村計画課調べ